

Yamashin Paradigm Shift

建機事業は早期に売上回復
ヘルスケア事業は拡大する市場への浸透に課題

ヤマシンフィルタ株式会社
2021年3月期第3四半期
決算説明資料

2021年2月4日

21年3月期第3四半期における事業環境・当社取り組みについて

事業環境

- 新型コロナウイルスの感染拡大が継続し、完全収束の目途は依然不透明な中、主要建機市場は回復基調
- 日本・北米・欧州建機需要は回復、東南アジアは回復に遅れ
- 世界最大の建機市場である中国においては、**中国建機メーカーの市場占有率拡大**、景気対策の奨励金等の効果により、新車の販売台数は過去世界最高を更新。中国メーカーの市場占有率も拡大が進む。今後、政府主導の公共投資の増加や第4次環境規制に向けた新車需要が見込まれる
- 各国で経済活動が再開するも、感染拡大第2波、第3波が想定され、当社の**エアフィルタ、ヘルスケア分野でのビジネス拡大機会**が到来



当社取り組み

- ◆ **建機用フィルタビジネス**
⇒ **産業廃棄物(CO2)低減、地球環境保全に貢献**
- ◆ **エアフィルタビジネス**
⇒ **産業廃棄物(CO2)低減、健康被害リスク低減に貢献**
- ◆ **ヘルスケアビジネス本格化**
⇒ **経済活動と健康被害リスク低減の両立に貢献**
- ◆ **その他事業ポートフォリオ確立**
「YAMASHIN Nano Filter™」展開

取組み詳細はp3記載

21年3月期第3四半期 業績動向

- **連結売上高：前年同期比13.2%増収の 10,394百万円**
 - ・ 建機用フィルタ売上高は各市場回復基調も上期減収により、**前年同期比8.9%減収の 7,742百万円**
 - ・ エアフィルタ売上高は **1,957百万円**
 - ・ **新規事業のヘルスケア売上高は 694百万円**
- 営業利益：新型コロナウイルスによる影響による輸送コスト、事業再編費用、新規マスクビジネスPR費用等の一時的なコスト発生により、**前年同期比746百万円減益の △146百万円**

当社取り組みについて（詳細）

- コロナ禍の需要に応えるべく、ヘルスケア事業を立ち上げ、国内マスク市場に本格参入
- ESGへの取り組みと事業ポートフォリオ拡大・収益性の向上を両立
- 「仕濾過事」を経営理念とし、環境・空気・健康をテーマに持続可能な社会作りに貢献

建機用フィルタビジネス

新素材やIoT技術を活かした高付加価値フィルタ製品ラインナップの拡充

ナノファイバー製ロングライフフィルタ、エアレーション技術、センサ技術を搭載したフィルタ製品の展開を実施

北米市場のシェア拡大

当社主力製品であるリターンフィルタに加え、燃料用、トランスミッション用フィルタ等の新規採用提案が進展

中国系建機メーカーへの採用率向上、補給品市場への進出

中国系建機メーカーへの採用実績は契約ベースで進展、今後政府主導の公共事業投資、第4次環境規制対応新機種開発を背景に、更なる新車採用率向上、アフターマーケットでの当社シェア拡大、売上規模拡大を目指す

売上規模拡大、高付加価値製品供給により収益性向上と、産業廃棄物低減、地球環境保全への貢献を両立

エアフィルタビジネス

HEPA、ULPAフィルタ開発

低圧損で高捕集率、低コストのHEPA、ULPAフィルタの開発が進展

ナノファイバー製エアフィルタ開発

低圧損で高捕集率のナノファイバー製エアフィルタのオフィスビル、工場、鉄道車両、家電等への開発が進展

製品付加価値向上による収益性向上と消費電力削減、健康被害リスク低減への貢献を両立

ヘルスケアビジネス

家庭用マスク市場へのシェア拡大、医療用マスク市場への進出を目指す

ECサイト、ドラッグストア等への販路拡大、家庭用マスク市場における、性能差別化製品投入によるシェア拡大
医療用認証取得（N95、FFP、DS2）による製品ラインナップ拡大によりシェア拡大を図り、
経済活動再開と健康被害リスク低減の両立に貢献

その他事業ポートフォリオ確立 「YAMASHIN Nano Filter™」展開

アパレル&産業用副資材としての市場領域の拡大

YAMASHIN Nano Filter™の新規供給に向けて、量産ラインを各種産業副資材へ対応するよう拡充強化

ヤマシングループは、アフターコロナ時代を見据え、取引関係者、株主の皆様、従業員とその家族の安全と健康を第一とし、適切な事業継続とワークライフバランスの充実を目指す

勤務体制 テレワークを継続し、働き方改革を実践

従業員自身に健康状態に異変があった際、また感染した方の濃厚接触者と特定された場合は入社禁止、医療機関等の指示を厳守することを通知・徹底し、社員の健康・安全、安心を確保しております。

① 海外現地法人での勤務体制

本社（横浜市中区）、横浜開発センタ（横浜市磯子区）、横須賀メディアラボ（横須賀市）、アクシー（大阪市・東京都中央区）において、在宅勤務を推奨 ※2020/6/1より「原則在宅勤務」から「推奨」へ変更

② 時差出勤等の励行

満員電車による密集状態を避けるため、オフィスへ出勤する際は時差出勤を実施。チーム制シフト勤務で、オフィス内の密集を回避

③ 海外現地法人での勤務体制

各国政府の指示に基づく感染症抑止策に従い、柔軟な勤務体制を適用

④ その他

当社グループの全施設で入口に消毒液を設置し、手指の消毒を徹底
会議、打合せは、WEB会議等のオンライン会議を活用する
国内出張、海外出張ともに、不要不急なものは禁止

生産体制

BCPに基づき、各拠点（セブ、佐賀、大阪、蘇州※生産委託、他）において柔軟な生産体制を実施

セブ工場 稼働再開し量産体制回復

佐賀工場 ろ材、マスク量産開始

蘇州工場 ※生産委託 通常稼働

大阪工場（アクシー） 本社工場移転、生産能力向上、マスク量産開始

業績への影響

各国で経済活動の再開と感染拡大防止策の両立を模索する動きが見られ、依然として先行き不透明な状況が続くなか、建機市場は回復基調

建機市場の動向

中国市場

経済活動は再開し、政府主導による公共投資の増加に伴う建機市場の更なる拡大が見込まれ、
主要顧客の生産活動は大幅に増加

日米欧亜市場

先行き不透明さが残るなか、経済活動の段階的な再開に伴い、
主要顧客の生産体制は回復傾向

I

2021年3月期第3四半期実績及び2021年3月期通期見通し

P5

II

市場を取り巻く環境

P31

決算

I 2021年3月期第3四半期実績及び 2021年3月期通期見通し

2021年3月期 第3四半期業績 (2020年10月~12月)

	2020/3期 Q3 実績		2021/3期 Q3 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)		金額 (百万円)		増減額 (百万円)	増減率
売上高	3,374		3,831		456	13.5%
建機用フィルタ※	2,686		2,853		166	6.2%
エアフィルタ	687		669		△18	△2.6%
ヘルスケア	0		308		308	-
営業利益 (セグメント利益)	212		△ 96		△308	△145.5%
建機用フィルタ※	409		370		△38	△9.4%
エアフィルタ	69		△1		△70	△101.7%
ヘルスケア	0		△124		△124	-
全社費用	△ 266		△341		△74	28.1%
営業利益率	6.3%		△ 2.5%		△ 8.8Pt	
経常利益	214		△ 72		△287	△133.9%
経常利益率	6.4%		△ 1.9%		△ 8.2Pt	
四半期純利益	158		536		378	239.3%
四半期純利益率	4.7%		14.0%		9.3Pt	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	108.8	106.1	△2.7	△2.5%	
	EUR	120.3	122.4	2.1	1.7%	

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。
各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、2021/3期第2四半期連結累計期間より、所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。

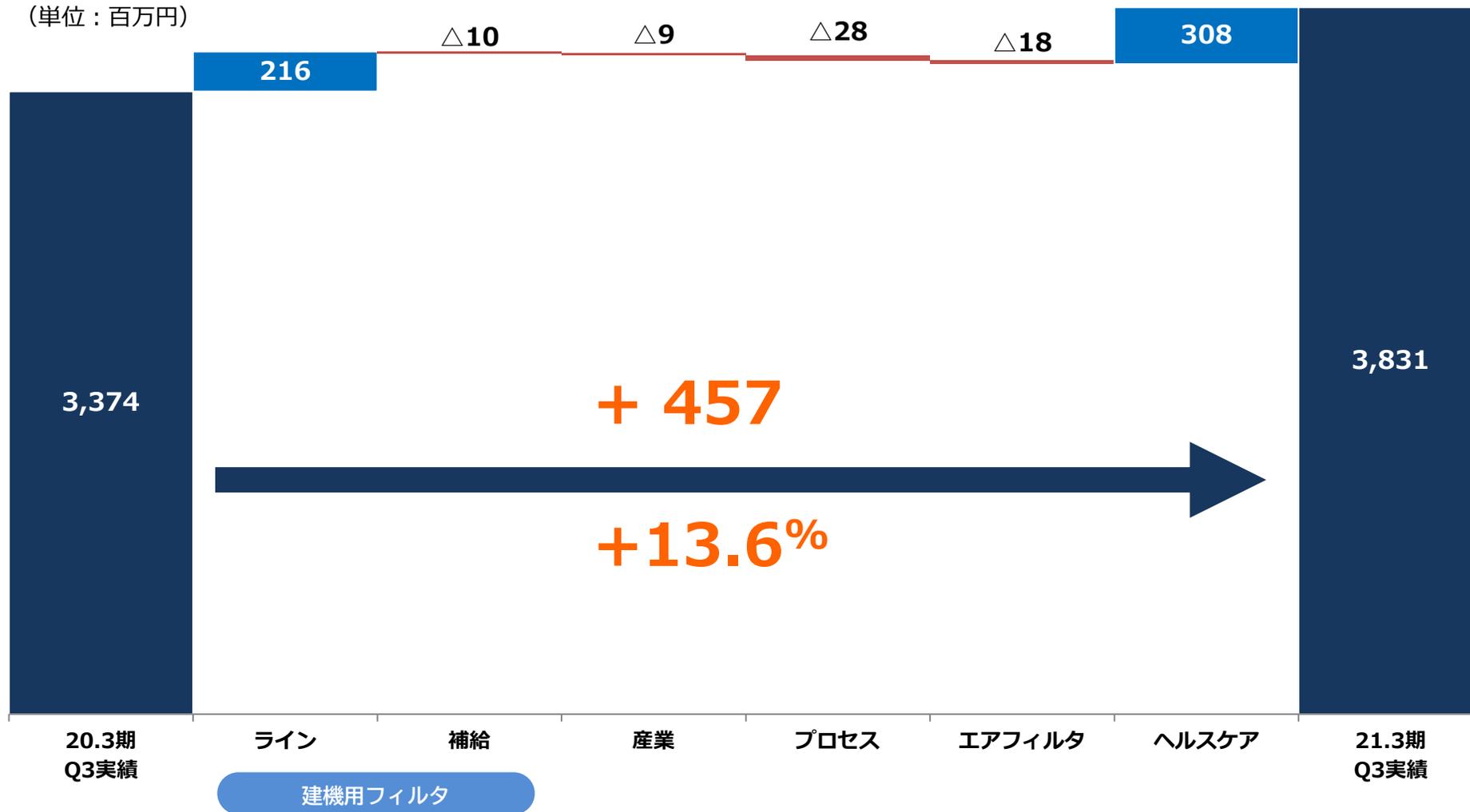
	2020/3期	2021/3期	前年同期比	
	Q3 実績	Q3 実績	増減額 (百万円)	増減率
	金額 (百万円)	金額 (百万円)		
建機用フィルタ	2,336	2,541	205	8.8%
ライン品	910	1,127	216	23.8%
補給品	1,425	1,414	△10	△0.8%
産業用フィルタ	115	105	△9	△8.4%
プロセス用フィルタ	235	206	△28	△12.0%
エアフィルタ	687	669	△18	△2.6%
ヘルスケア	0	308	308	-
売上高合計	3,374	3,831	457	13.6%

	2020/3期 Q3 実績		2021/3期 Q3 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ*	2,686	79.6%	2,854	74.5%	167	6.2%
国内	1,230	36.5%	1,330	34.7%	99	8.1%
北米	591	17.5%	507	13.2%	△83	△14.2%
中国	289	8.6%	454	11.9%	164	56.8%
アジア	311	9.2%	252	6.6%	△59	△19.1%
欧州	261	7.8%	309	8.1%	47	18.0%
その他 (中東他)	1	0.0%	0	0.0%	0	△13.7%
エアフィルタ (国内)	687	20.4%	669	17.5%	△18	△2.6%
ヘルスケア (国内)	-	-	308	8.0%	308	-
売上高合計	3,374	100.0%	3,831	100.0%	457	13.6%

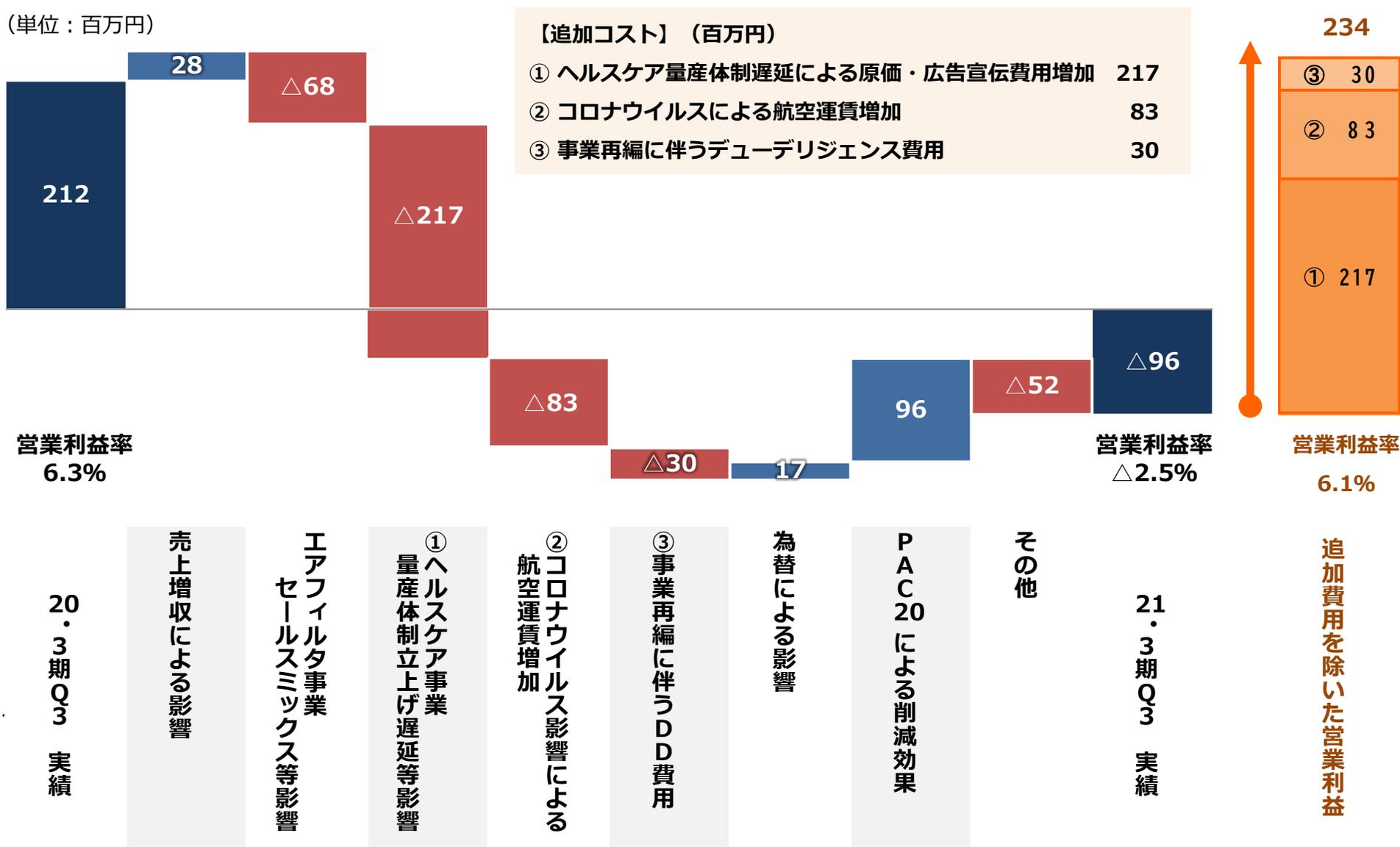
※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

* 当社は請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

(単位：百万円)



(単位：百万円)



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

2021年3月期 第3四半期 累計業績 (2020年4月~12月)

	2020/3期 Q3累計 実績		2021/3期 Q3累計 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)		金額 (百万円)		増減額 (百万円)	増減率
売上高	9,186		10,394		1,208	13.2%
建機用フィルタ※	8,498		7,742		△756	△8.9%
エアフィルタ	687		1,957		1,269	184.6%
ヘルスケア	0		694		694	-
営業利益 (セグメント利益)	600		△146		△746	△124.3%
建機用フィルタ※	1,403		798		△605	△43.1%
エアフィルタ	69		37		△31	△45.6%
ヘルスケア	0		△18		△18	-
全社費用	△ 872		△963		△91	10.4%
営業利益率	6.5%		△1.4%		△7.9Pt	
経常利益	501		△133		△635	△126.6%
経常利益率	5.5%		△1.3%		△6.7Pt	
四半期純利益	345		384		39	11.3%
四半期純利益率	3.8%		3.7%		△0.1Pt	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	108.8	106.1	△2.7	△2.5%	
	EUR	120.3	122.4	2.1	1.7%	

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。
各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、2021/3期第2四半期連結累計期間より、所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。

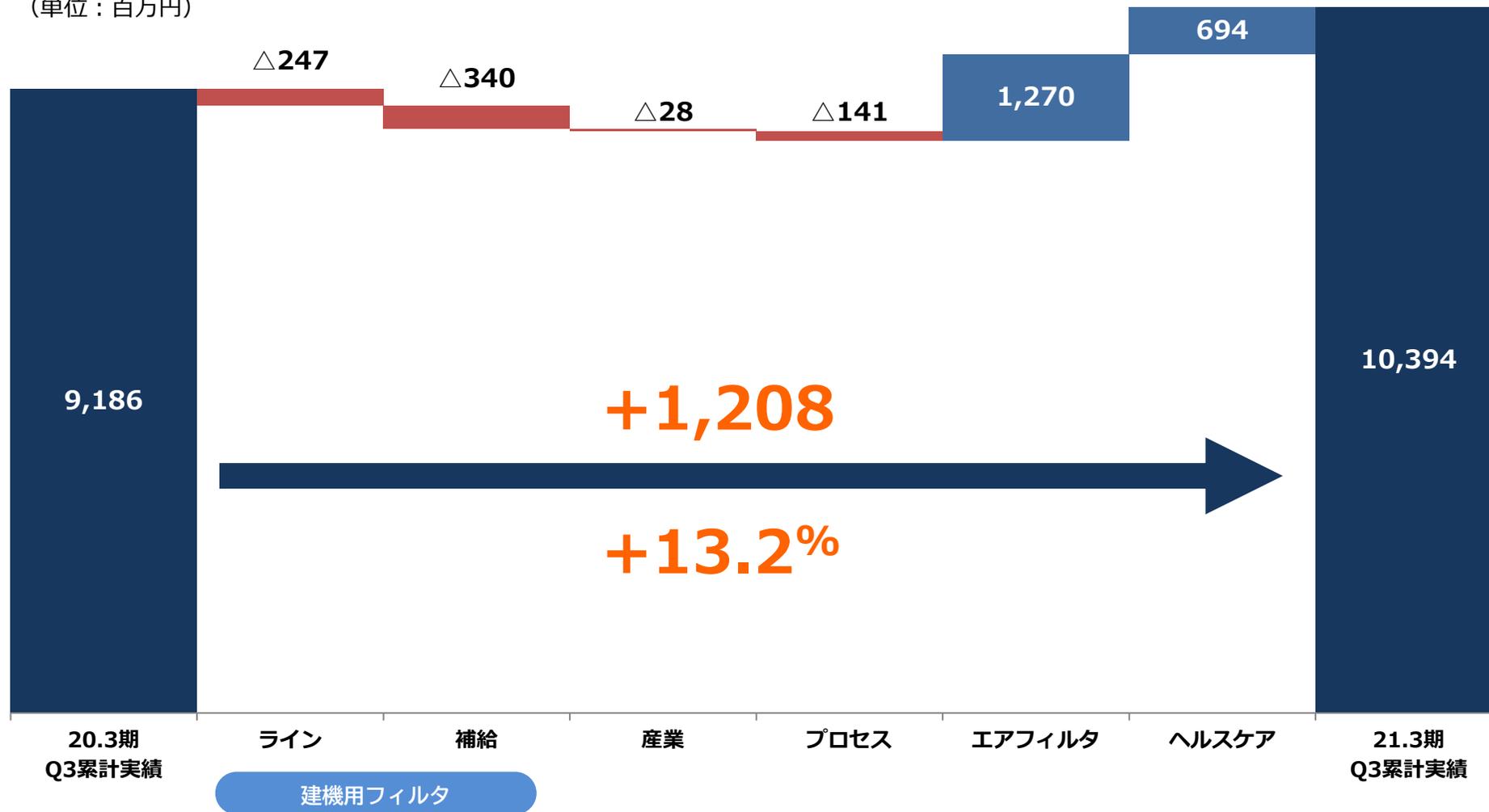
	2020/3期 Q3累計 実績	2021/3期 Q3累計 実績	前年同期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	7,429	6,841	△588	△7.9%
ライン品	3,124	2,877	△247	△7.9%
補給品	4,304	3,964	△340	△7.9%
産業用フィルタ	370	342	△28	△7.6%
プロセス用フィルタ	699	558	△141	△20.2%
エアフィルタ	687	1,957	1,270	184.9%
ヘルスケア	0	694	694	-
売上高合計	9,186	10,394	1,208	13.2%

		2020/3期 Q3累計 実績		2021/3期 Q3累計 実績		前年同期比	
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ*		8,498	92.5%	7,742	74.5%	△756	△8.9%
国内		4,052	44.1%	3,503	33.7%	△549	△13.5%
北米		1,787	19.5%	1,363	13.1%	△424	△23.7%
中国		878	9.6%	1,131	10.9%	253	28.8%
アジア		987	10.8%	876	8.4%	△111	△11.2%
欧州		789	8.6%	864	8.3%	75	9.5%
その他 (中東他)		3	0.0%	2	0.0%	△1	△33.3%
エアフィルタ (国内)		687	7.5%	1,957	18.8%	1,270	184.9%
ヘルスケア (国内)		-	0.0%	694	6.7%	694	-
売上高合計		9,186	100.0%	10,394	100.0%	1,208	13.2%

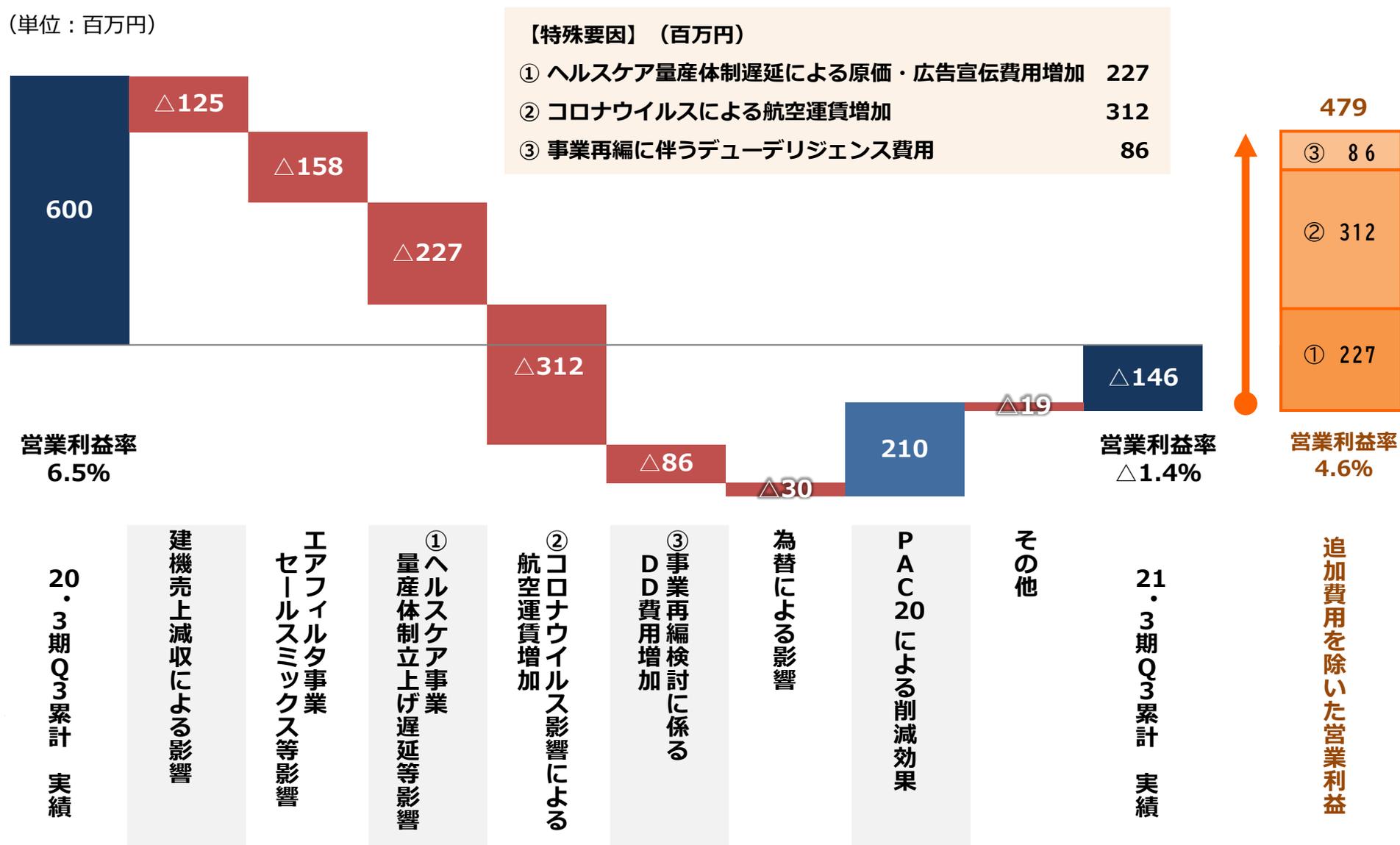
※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

* 当社は請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

(単位：百万円)



(単位：百万円)



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

単位 百万円	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2021年3月期 Q3累計
	実績	見通し	実績						
売上高	10,530	10,703	9,458	10,007	13,168	13,811	12,674	14,550	10,394
設備投資額	243	288	207	448	816	2,257	3,150	4,724	4,238
売上高比率	2.3%	2.7%	2.2%	4.5%	6.2%	16.3%	24.9%	32.5%	40.8%
減価償却費	466	407	393	294	303	414	534	738	525
売上高比率	4.4%	3.8%	4.2%	2.9%	2.3%	3.0%	4.2%	5.1%	5.1%
研究開発費	212	254	225	172	250	308	404	542	415
売上高比率	2.0%	2.4%	2.4%	1.7%	1.9%	2.2%	3.2%	3.7%	4.0%

売上高及び設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



管理部門にとどまらず、現場にまで 企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY'Sとは (ROIC – WACC)

- M**aximizing
- A**dded
- V**alue of
- Y**amashin Filter
- S**pread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

Key Goal Indicator (KGI)

Key Performance Indicator (KPI)

Key Success Factor (CFS)

責任部署

21.3期部門目標 (action plan)

21.3期 第3四半期進捗

※KPI算定の前提

Prv : 2020年3月期 年間実績
Cur : 2021年3月期 修正予算

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (CFS)	責任部署	21.3期部門目標 (action plan)	21.3期 第3四半期進捗							
<p>MAVY's</p> <p>Prv: -6.6%</p> <p>Cur: -10.6%</p>	<p>売上高営業利益率</p> <p>Prv: 6.1%</p> <p>Cur: 0.3%</p>	<p>売上総利益率</p> <p>Prv: 43.6%</p> <p>Cur: 39.8%</p>	売上高伸長率	Prv: -8.2%	Cur: 14.8%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	<ul style="list-style-type: none"> 中国企業への参入拡大・加速 エアフィルタラインナップによる製品・提案力強化 マスク関連製品市場への進出 新規事業領域への進出 	<ul style="list-style-type: none"> 中国系建機メーカー向け新機種採用実績向上 ハイブリッドフィルタの各社提案進展 マスク関連製品の販売開始・販路拡大・医療用認証取得に向けた取組み進展 			
			売上原価率	Prv: 56.4%	Cur: 60.2%	購買力強化 歩留り改善	生産・購買	<ul style="list-style-type: none"> PAC20、PAC20+ 購買手法の改革改善 生産管理の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 購買先の評価基準の見直しと集約実施完了 共通購買(アクション)による調達コスト削減 計画的な保守・保全実施による歩留まり改善、製造原価削減実行進展 			
			減価償却費率	Prv: 4.4%	Cur: 5.0%	投資計画	経営企画 財務経理	<ul style="list-style-type: none"> M&A(収益拡大・経営安定化手段) →M&A先企業の情報収集 →不織布事業体買収(下流) →新素材開発企業買収(上流) 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化(電話会議等) 			
			販管費率	Prv: 37.4%	Cur: 39.5%	研究開発費率	Prv: 3.2%	Cur: 3.9%	テーマの絞り込み 優先順位	開発	<ul style="list-style-type: none"> 新素材の開発 IoTの取り組み エアレーション他技術開発 マスクラインナップ拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ナノファイバー製エアフィルタ製品化加速 各得意先各種センサー試験品供給 産学連携による新素材開発の加速 高性能マスク、新規マスク開発 医療用認証取得
			人件費率	Prv: 15.9%	Cur: 16.2%	最適な人員構成	人事・総務	<ul style="list-style-type: none"> タレントマネジメント制度 策定・運用 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代マネジメント層の発掘 製品開発に向けた研究委員の増員 事業再編にかかる職業専門家スタッフの採用 			
			売上債権回転率	Prv: 3.8	Cur: 4.5	債権管理	営業 財務経理	<ul style="list-style-type: none"> 債権回収率の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応 			
			運転資本回転率	Prv: 3.0	Cur: 6.7	棚卸資産回転率	Prv: 6.1	Cur: 8.2	適正在庫の設定	生産 営業	<ul style="list-style-type: none"> 全社棚卸資産の圧縮 	<ul style="list-style-type: none"> 棚卸資産のバレット分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の実行中
			投資資本回転率	Prv: 0.7	Cur: 0.7	仕入債務回転率	Prv: 5.8	Cur: 6.3	債務管理	購買 生産	<ul style="list-style-type: none"> ワーキングキャピタル改善 	<ul style="list-style-type: none"> 運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化
			ROIC	Prv: 3.3%	Cur: -0.7%	有形固定資産回転率	Prv: 2.5	Cur: 1.5	設備計画 (R&D・生産)	経営企画 総務・生産・開発	<ul style="list-style-type: none"> 投資回収効果最適化 	<ul style="list-style-type: none"> 投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資、優先判断の実行
			WACC	Prv: 9.9%	Cur: 9.9%	無形固定資産回転率	Prv: 35.5	Cur: 43.7	投資計画	経営企画 財務経理	<ul style="list-style-type: none"> 知財戦略の策定と アクションプランの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 戦略の作成と行動計画の立案及び関係者への研修強化 中国市場での積極的の特許出願
ROE	Prv: 3.3%	Cur: 2.5%										
ROA	Prv: 2.9%	Cur: 2.2%										

生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

PAC20



Promptly
迅速



Activated
かつ効果的な



Cost reduction
コスト削減計画

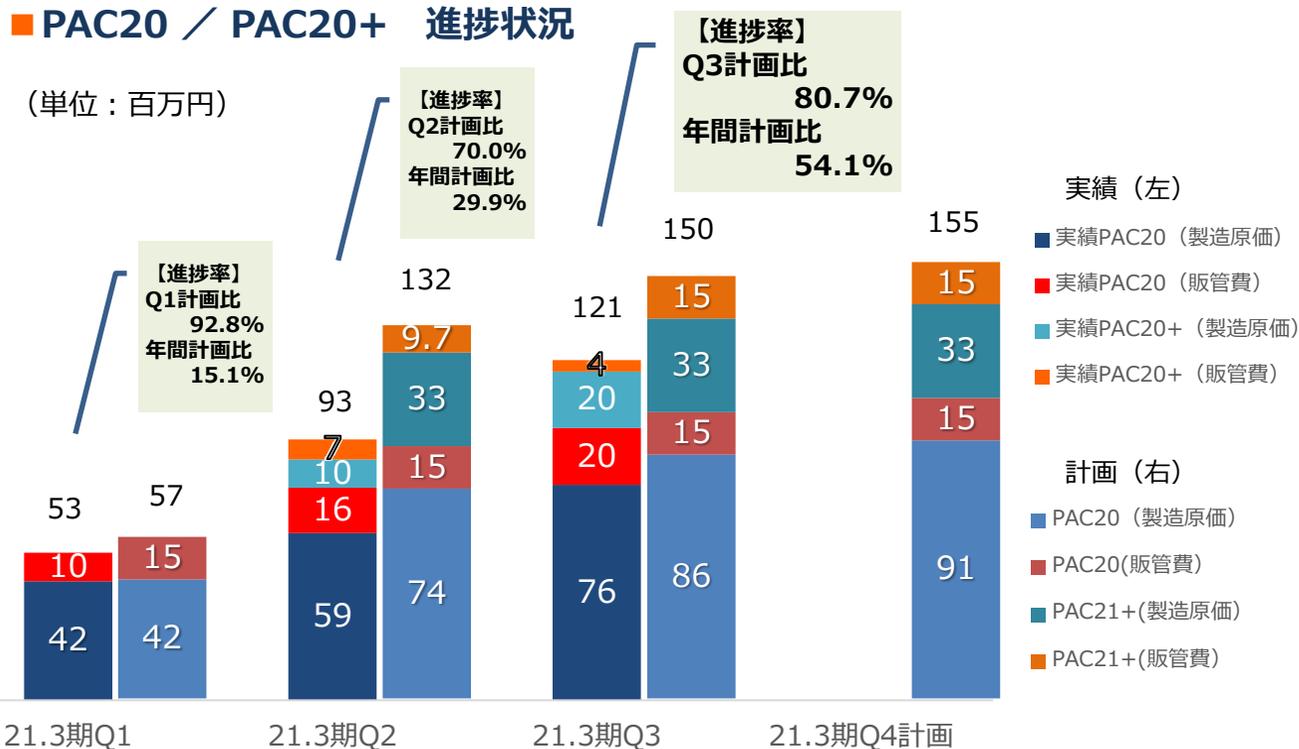
20

20

サプライチェーン見直し、工程改善等を継続して実行
更なる経費削減を実行し、収益性の改善を図る (PAC20+)

■ PAC20 / PAC20+ 進捗状況

(単位：百万円)



■ 年間削減目標金額

単位：百万円	製造原価	販管費	計
PAC20	293	61	355
PAC20+	100	40	140
計	393	101	495

■ Q1~3累計削減実績金額・進捗率

単位：百万円	製造原価	販管費	計
PAC20	177	47	225
PAC20+	31	11	43
計	209	58	268
進捗率	53.2%	57.4%	54.1%

2021年3月期 通期業績予想

建機用フィルタ事業 (既存事業)

- 各国経済活動の再開による建機稼働時間の増加に伴う補給品ビジネスの回復、および主要得意先各社の新車生産活動は大幅に改善
- その結果、当社製品の需要の回復が堅調。売上高予想は増収を見込む
- 世界的なコンテナ不足による輸送コストの高騰、材料調達や得意先への納期対応に係る航空運賃の継続的な発生により利益面は低調に推移したことから業績予想を修正

エアフィルタ事業 (既存事業)

- コロナ禍におけるオフィスビルの稼働率減少及び鉄道運航本数減少等の影響により、フィルタ交換需要の減少による減収及び減益が見込まれることから、業績予想を修正

ヘルスケア事業 (新規事業)

- 世界初の立体構造のナノファイバー素材の量産体制の確立に時間を要したことによりドラッグストア市場等への供給が大幅に遅延、また、十分な原価低減を図れなかったことにより減収減益が見込まれることから、業績予想を修正

リスクの想定

- 従業員の健康・安全保持のため、勤務地域に応じた業務体制を選択
 (在宅勤務、時差出勤の指示・励行)
- BCP対策として、生産供給体制の分散を継続

	2020/3期 実績	2021/3期予想 2020.8.4修正	2021/3期予想 2020.11.4修正	2021/3期予想 今回修正	修正差	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	
売上高	12,674	15,000	16,000	14,550	△1,450	
建機用フィルタ※	11,296	10,000	10,000	10,950	950	
エアフィルタ	1,377	3,000	3,000	2,600	△400	
ヘルスケア	-	2,000	3,000	1,000	△2,000	
営業利益	777	1,230	1,300	40	△1,260	
建機用フィルタ※	1,894	1,583	1,353	1,310	△43	
エアフィルタ	122	290	290	50	△240	
ヘルスケア	-	640	910	△40	△950	
全社費用	△1,240	△1,283	△1,253	△1,280	△27	
営業利益率	6.1%	8.2%	8.1%	0.3%	△7.8Pt	
経常利益	603	1,200	1,280	60	△1,220	
経常利益率	4.8%	8.0%	8.0%	0.4%	△7.6Pt	
当期期純利益	608	790	1,350	770	△580	
当期純利益率	4.8%	5.3%	8.4%	5.3%	△3.1Pt	
為替レート (円)	USD	108.8	108.0	108.0	108.0	-
	EUR	120.83	121.0	121.0	121.0	-

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。
各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、2021/3期第2四半期連結累計期間より、所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。

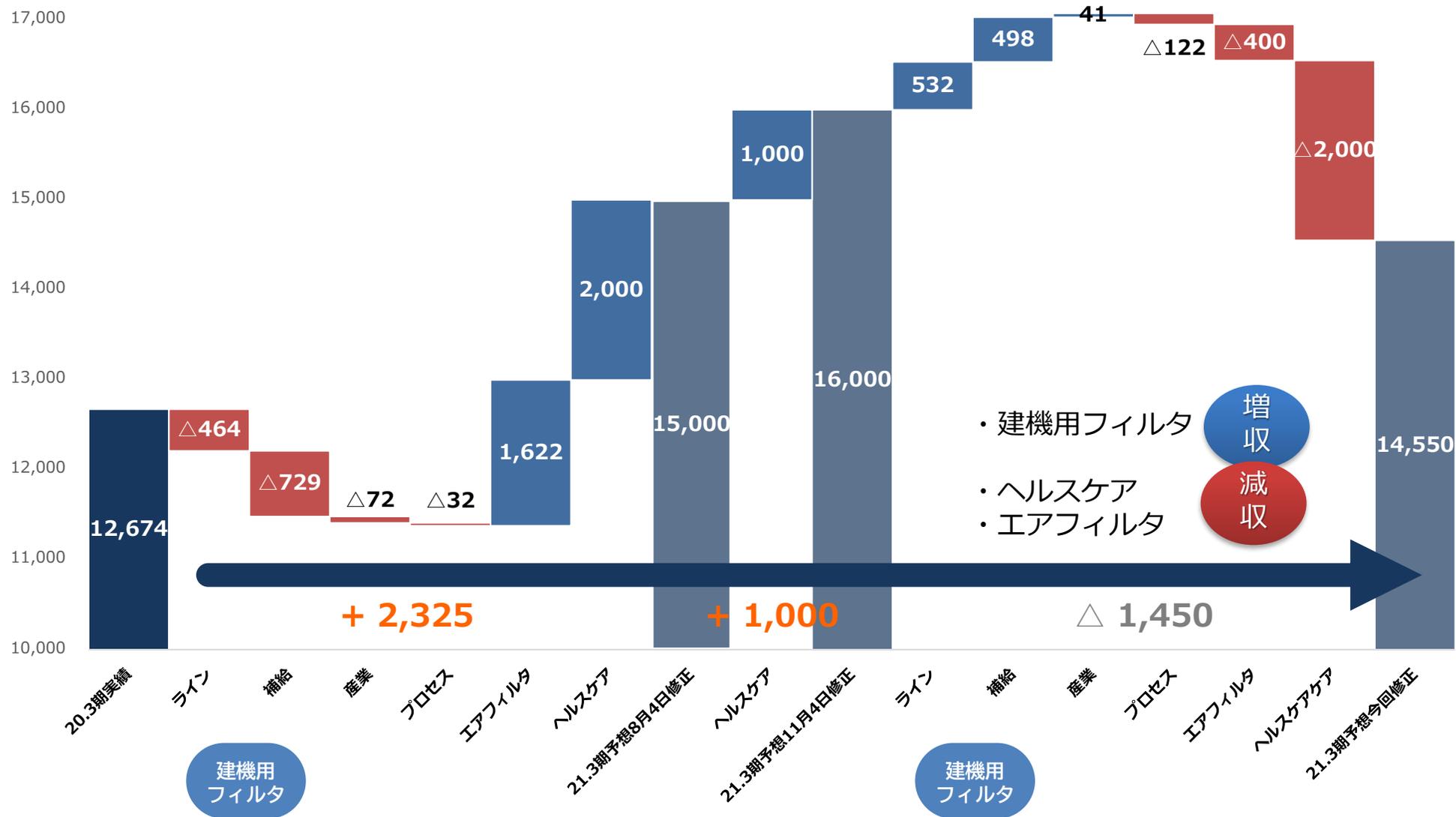
	2020/3期 実績		2021/3期予想 2020.8.4修正		2021/3期予想 2020.11.4修正		2021/3期予想 今回修正		修正差	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	9,866	77.8%	8,673	57.8%	8,673	54.2%	9,704	66.7%	1,031	11.9%
ライン品	4,129	32.6%	3,665	24.4%	3,665	22.9%	4,197	28.9%	532	14.5%
補給品	5,737	45.3%	5,008	33.4%	5,008	31.3%	5,506	37.8%	498	10.0%
産業用フィルタ	492	3.9%	420	2.8%	420	2.6%	462	3.2%	41	9.8%
プロセス用フィルタ	937	7.4%	905	6.0%	905	5.7%	783	5.4%	△122	△13.5%
既存ビジネス 合計	11,296	89.1%	10,000	66.7%	10,000	62.5%	10,950	75.3%	950	9.5%
エアフィルタ	1,377	10.9%	3,000	20.0%	3,000	18.8%	2,600	17.9%	△400	△13.3%
ヘルスケア	0	0.0%	2,000	13.3%	3,000	18.8%	1,000	6.9%	△2,000	△66.7%
売上高合計	12,674	100.0%	15,000	100.0%	16,000	100.0%	14,550	100.0%	△1,450	△9.1%

	2020/3期 実績		2021/3期予想 2020.8.4修正		2021/3期予想 2020.11.4修正		2021/3期予想 今回修正		修正差	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ*	11,296	89.1%	10,000	66.7%	10,000	68.7%	10,950	75.3%	950	9.5%
国内	5,420	42.8%	4,587	30.6%	4,587	31.5%	4,860	33.4%	273	6.0%
北米	2,313	18.3%	2,081	13.9%	2,081	14.3%	2,112	14.5%	31	1.5%
中国	1,173	9.3%	1,212	8.1%	1,212	8.3%	1,576	10.8%	364	30.1%
アジア	1,319	10.4%	1,250	8.3%	1,250	8.6%	1,257	8.6%	7	0.6%
欧州	1,065	8.4%	845	5.6%	845	5.8%	1,139	7.8%	294	34.8%
その他（中東他）	4	0.0%	23	0.2%	23	0.2%	2	0.0%	△21	△91.2%
エアフィルタ（国内）	1,377	10.9%	3,000	20.0%	3,000	20.6%	2,600	17.9%	△400	△13.3%
ヘルスケア（国内）	0	0.0%	2,000	13.3%	3,000	20.6%	1,000	6.9%	△2,000	△66.7%
売上高合計	12,674	100.0%	15,000	100.0%	16,000	110.0%	14,550	100.0%	△1,450	△9.1%

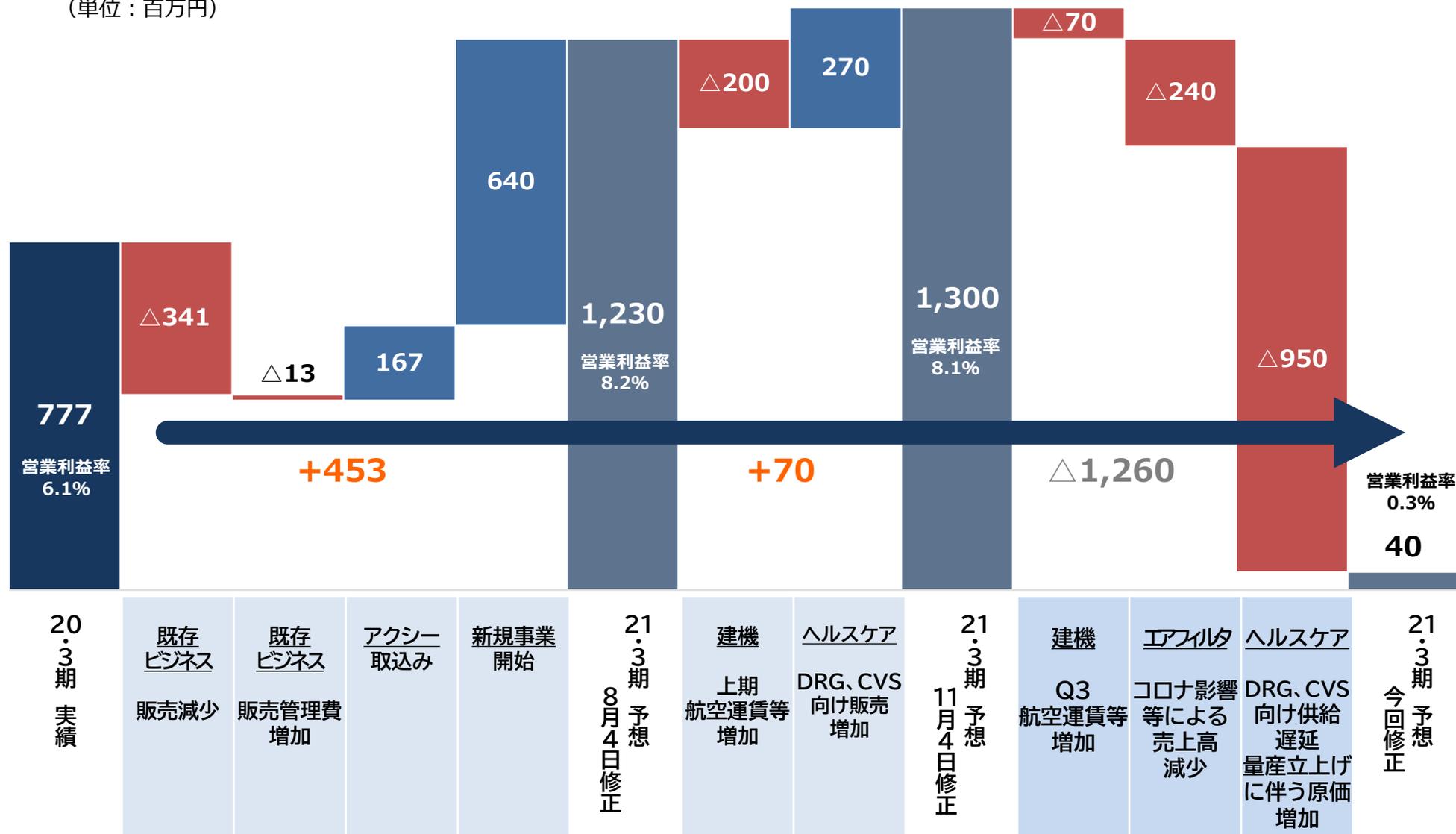
※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

* 当社は請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

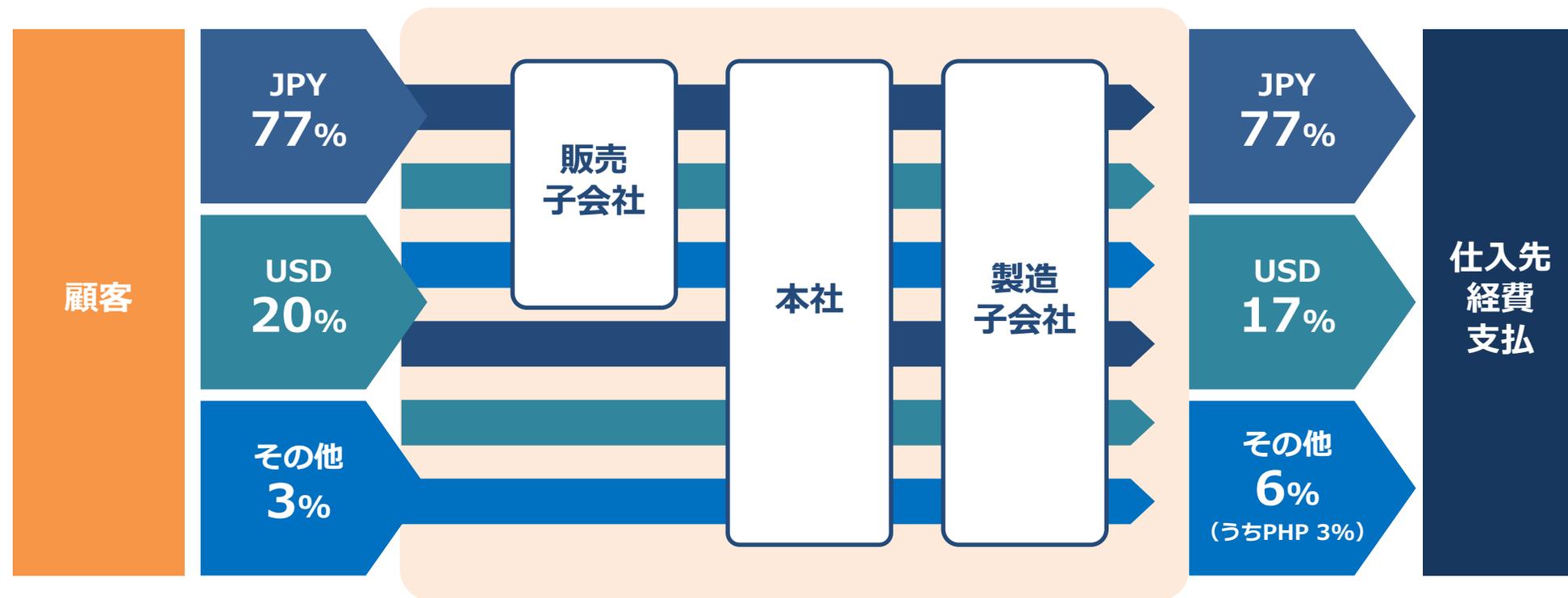
(単位：百万円)



(単位：百万円)



為替は完全マリーが継続している。



取引通貨の8割はJPY

USDは為替マリーを実現

- 為替が1円円高になった場合の営業利益影響額は約3百万円増益

中間配当 3.0円、 期末配当3.0円の年間6.0円据え置き

	18年3月期	19年3期	20年3月期	21年3月期 予想
1株当たり 配当金	3.6円 ^{※1}	6.0円	6.0円	6.0円
DOE ^{※2}	1.9%	2.4%	2.3%	2.2%
総還元性向 ^{※3}	21.6%	31.9%	72.3%	93.6%

注)

※1 2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、2018年3月期の配当額については、参考値として株式分割後の金額を記載しております

※2 DOE（株主資本配当率）=（年間配当総額÷株主資本）×100 =（ROE×配当性向）

※3 総還元性向 =（配当総額 + 自己株式取得 + 株主優待）÷ 当期純利益

思

Ⅱ 市場を取り巻く環境

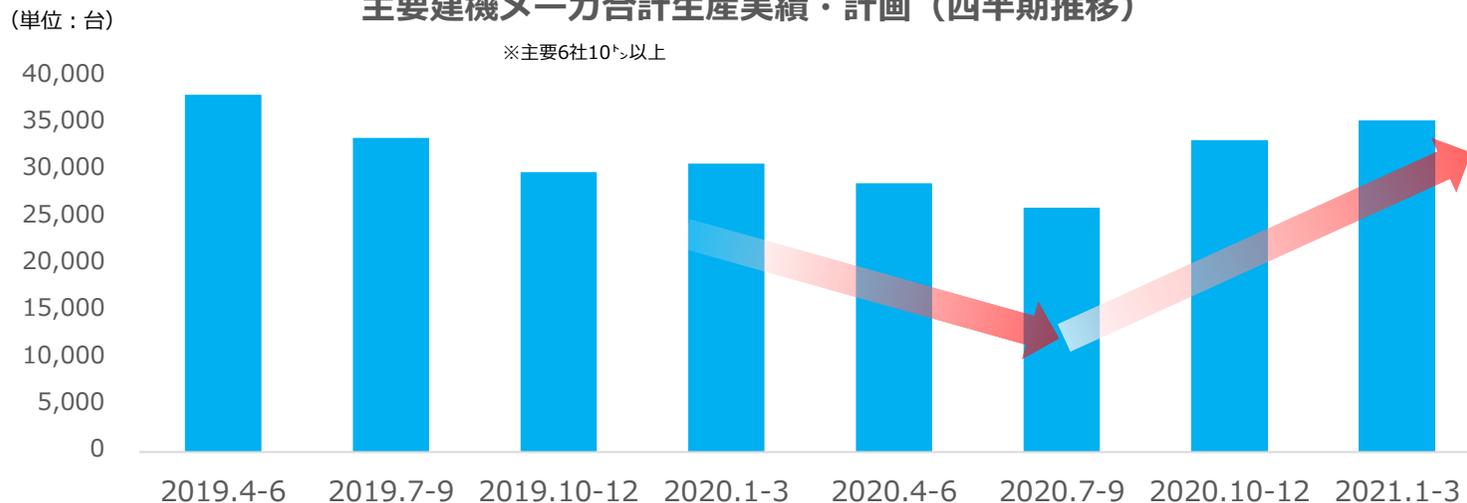
“建機市場を取り巻く環境”

- 当第3四半期は新型コロナウイルスの影響により、停滞していた各国の経済活動が再開の兆しを見せるも、日米欧亜市場においては、建機需要は減少、先行き不透明さは残るも、経済活動再開により需要回復が見込まれる
- 世界最大の建機市場である中国市場においては、政府主導による大規模な公共事業投資が計画され建機需要の増加が見込まれる

	2021/3 Q2	2021/3 Q3	今後の見通し
中国	政府主導の大規模な公共投資促進策 新車販売台数が前年比大幅増加で推移	政府主導の産業補助金拡大を目的とした 投資促進策や消費刺激策の効果に伴い 新車需要が大幅に増加	内需拡大に向けた公共事業の増加や 2022年度以降に予定される Tier4対応に向けた駆け込み需要等により 需要の増加が見込まれる
東南 アジア	反政府デモ、経済活動停滞により 建機需要減少	先行き不透明さが残り 軟調に推移	資源需要低迷等により先行き 不透明さが残り軟調な推移を見込む
北米	経済活動が徐々に再開し、 建機需要も回復傾向	コロナ第3波の影響が残るものの 停滞していた生産活動が 前年度と同水準まで回復傾向	需要回復を見込む
日本	経済活動が徐々に再開し、 建機需要も回復傾向	コロナ第3波の影響が残るものの 建機需要は回復傾向	需要回復を見込む
欧州	経済活動が再開するも、 建機需要も回復傾向、 コロナ第2波により再ロックダウン懸念	コロナ第3波の影響が残るものの 停滞していた生産活動が 前年度と同水準まで回復傾向	需要回復を見込む

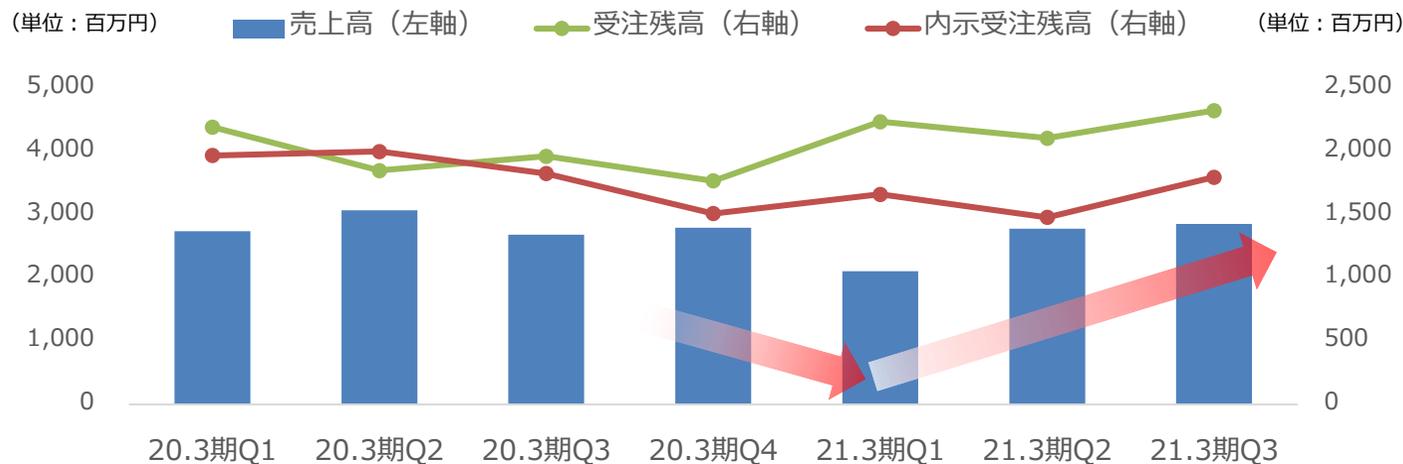
主要建機メーカー合計生産実績・計画（四半期推移）

※主要6社10%以上



建機メーカー
7-9月期を底に
増産計画

当社の建機用フィルタ売上高と確定受注残高内示受注残高（四半期推移）



主要得意先
の生産回復傾向
↓
当社製品の
需要回復見込む

高付加価値フィルタ製品（ロングライフ、IoT）を
戦略製品と位置づけ、ラインナップを拡充し営業活動を展開

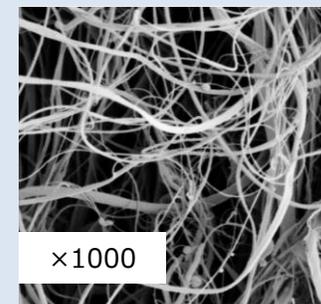


数年後の実用化に向け
シェア拡大を図る

建機のモデルチェンジと共にろ材を独自開発し最適なフィルタ性能を提供

樹脂ナノファイバーろ材の使用によって

樹脂ナノファイバーろ材



高精度化

ロングライフ化（交換時間3,000時間）

更なる高機能化

建機のダウンサイジング
・燃費向上

地球温暖化防止
環境負荷低減

使用済みフィルタの削減
・廃棄量減少

- ・ 繊維径 200nm-20μm
- ・ 繊維径の調整が可能
- ・ ろ過精度 0.5-20μm
- ・ 繊維径細く空隙率が高い
- ・ 厚み 0.5-0.8mm
- ・ 通気抵抗が低い

FILTER SAVER
（差圧センサー一体型ICタグリーダ）

特許出願中

2つの機能を有するセンサ

【ICタグリーダ】
純正品使用
状況検知

【差圧センサ】
フィルタ寿命
予知検知

クライアントと共同で
実機試験を実施中

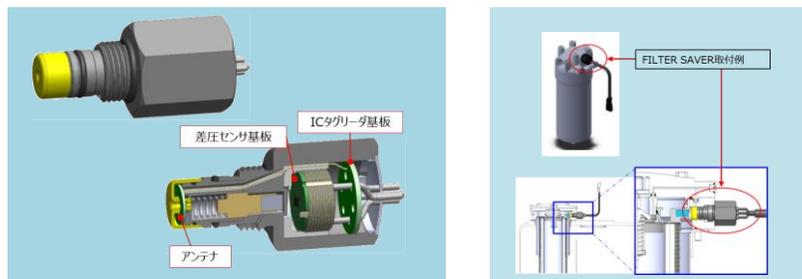
SWIFTROCK（汚染度センサ）
※SWIFT Real time Oil Checker

- 作動油中の固形粒子量をセンシングするセンサ
- 様々な油種に対応
- 作動油の汚染度をリアルタイムで検知し建機の
状態を常に監視⇒故障予知

建機メーカー・ユーザのコストダウンに貢献

イミテーション排除・当社製品（純正品）販売増

FILTER SAVER™ (差圧センサー体型ICタグリータ)



ユーザの メリット

センサを搭載しモニタすることで
ユーザの負担減と満足度が向上

圧倒的な安心

- 機体の資産価値の証明
- マシンダウンのリスク減
- 定期交換から適時交換による経費削減

代理店の メリット

フィルタの状態が見える化されることで
代理店の活動が効率化される

効率化 コスト改善

- 発注計画の精度UP
- ユーザの手元に確実に純正品を供給
- サービスマンの業務効率化

建機メーカ のメリット

センサの搭載でユーザへのサービス向上から
部品管理まで幅広くカバーできる

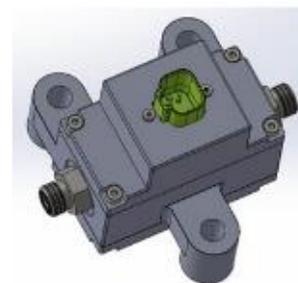
品質向上

- リアルタイムな状態監視が可能
- 代理店活動管理の精度向上
- イミテーションを使用するユーザの監視

SWIFTROCK™ (汚染度センサ)



Standard版



Light版

潤滑油中の気泡の影響を受けず、油圧潤滑装置の最大の故障要因である摩耗粉をはじめとする固形粒子に絞った清浄度監視を行います。異常摩耗粉の発生を検知するので、高い信頼性の操業と生産性を実現できるIoT時代の強い味方

6つの強み

01
イニシャルコスト削減

02
気泡対策

03
流量変動への対応

04
耐高圧性

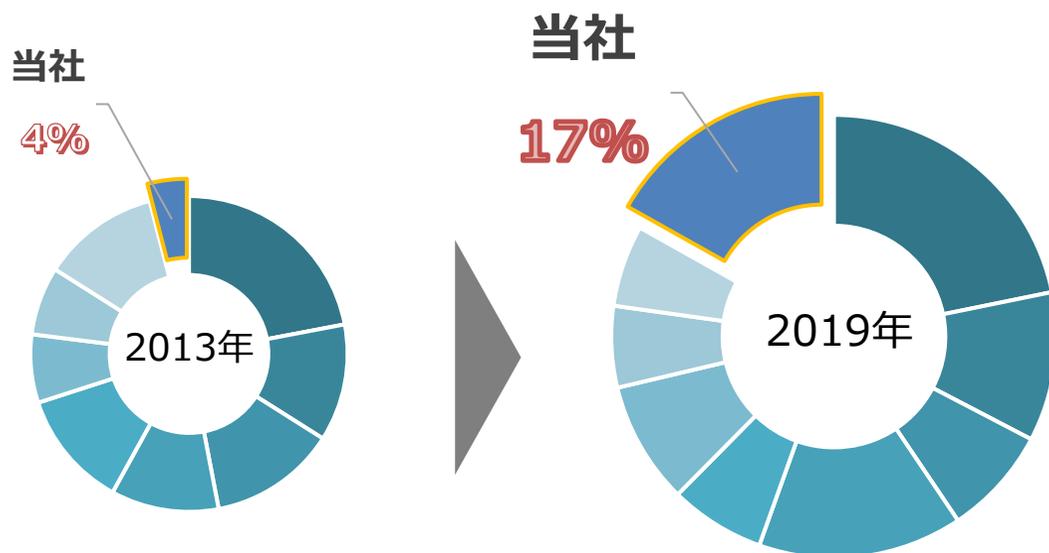
05
耐熱性

06
常時検診

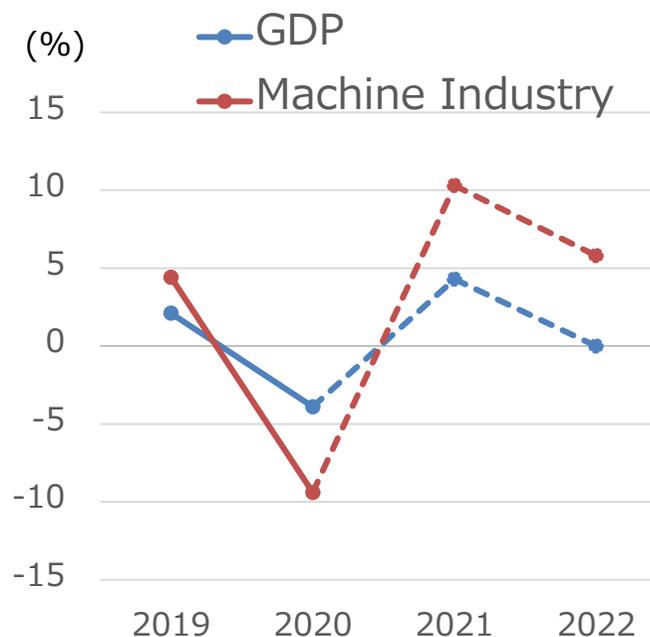
米国経済指標	2018 Avg.	2019 Avg.	JAN. 2020	JAN. 2021	CHANGE 1 YEAR
PMI 購買担当者景況指数	56.30	56.10	47.80	60.70	+26%
Housing Starts 米国住宅着工件数	1.22 Million	1.18	1.37 Million	1.54 Million	+12%
Met + Mat Index 金属及びミネラル価格指数	75.39	88.57	76.22	90.28	+18%

■ 世界最大建機メーカーの当社シェア拡大

■ A社 ■ B社 ■ C社 ■ D社 ■ E社 ■ F社 ■ G社 ■ その他 ■ 当社



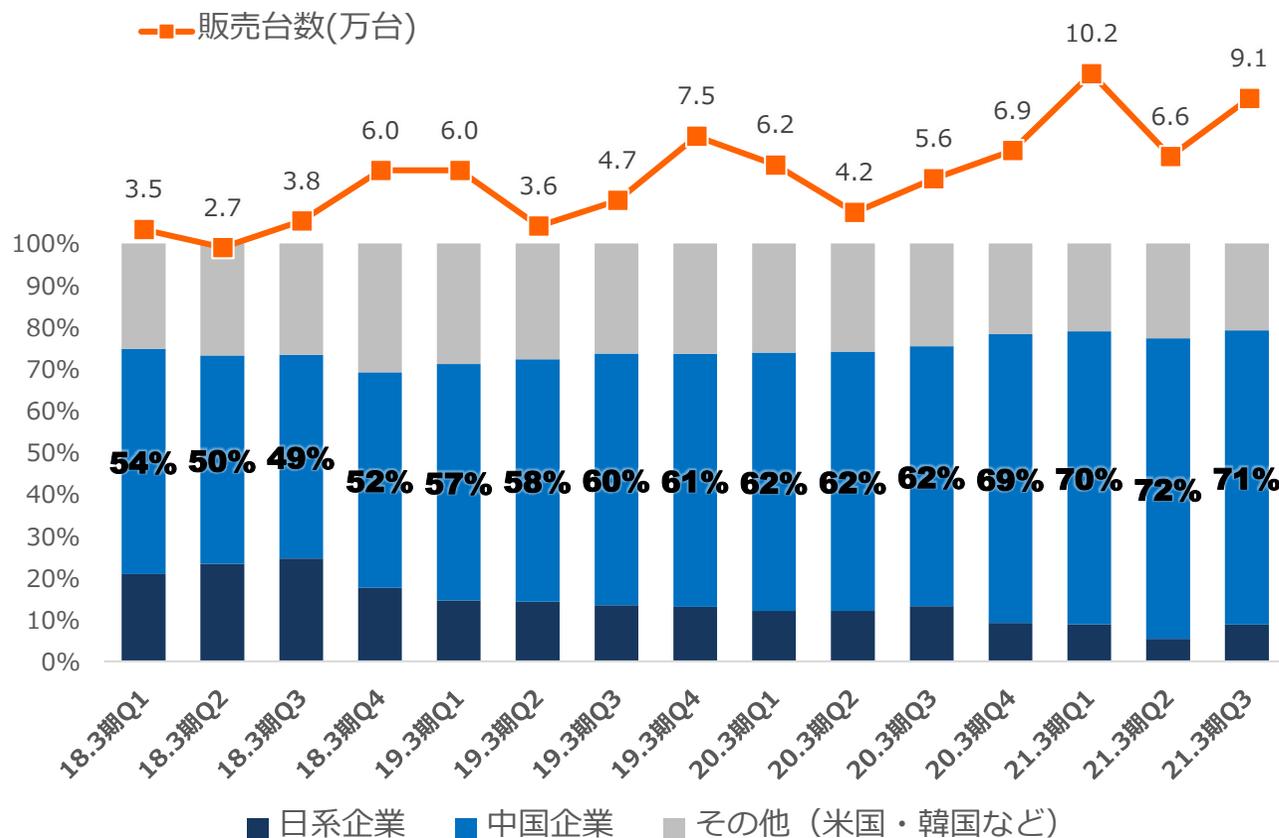
■ NORTH AMERICA CONSTRUCTION MACHINERY DEMAND



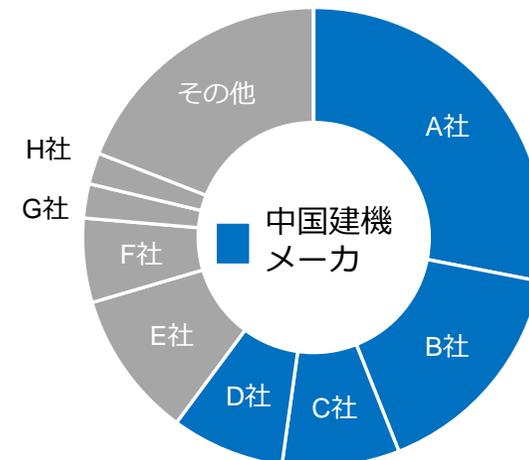
- 中国建機需要は大規模公共投資に下支えされ、好調持続
- 中国系建機メーカーのシェア伸長は継続、7割超え
- さらに、Tier4環境規制に伴う新車需要増加見込む

中国系建機メーカーへの
提案に注力
当社シェアの急拡大を
目指す

中国市場における販売台数とシェア（四半期推移）



中国建機市場における
主要建機メーカーのシェア
(2020年12月末)

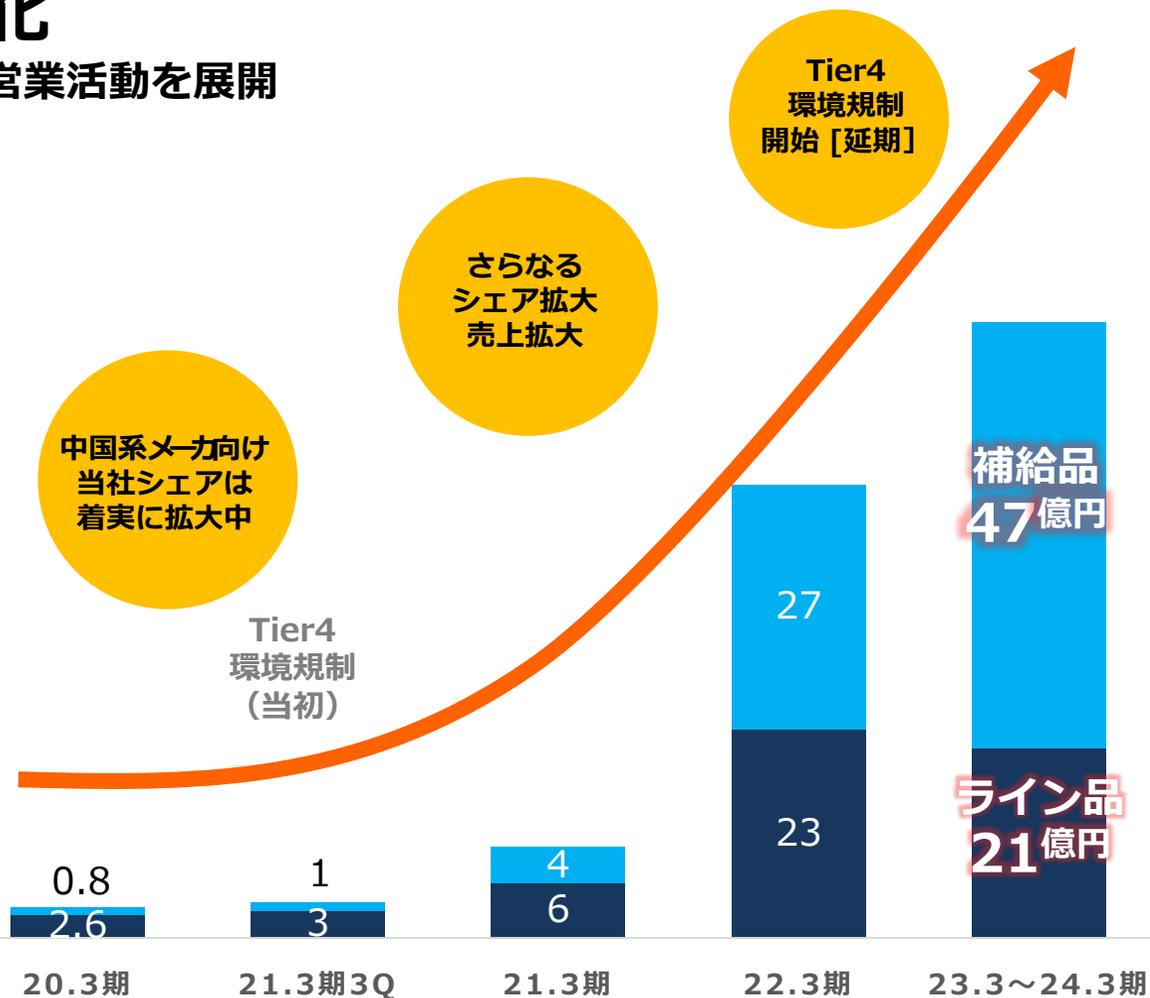


新規採用に向け取り組みを強化

- 高付加価値製品を戦略製品と位置づけ、営業活動を展開
- 建機に強いパートナーと提携

(%)

中国系 メーカ	20.3 当社 シェア		20.12 当社シェア		21.3期 目標シェア		20.12末 進捗率	
	採用率 ベース	受注率 ベース	採用率 ベース	受注率 ベース	採用率 ベース	受注率 ベース	採用率 ベース	受注率 ベース
a	0 ⇒	66	1 ⇒	66	5	100	20	
b	0 ⇒	100	45 ⇒	100	50	100	90	
c	25 ⇒	100	50 ⇒	100	60	100	83	
d	0 ⇒	100	71 ⇒	100	80	100	88	
e	20 ⇒	100	7 ⇒	100	20	100	35	
f	0 ⇒	39	38 ⇒	44	40	88	95	
g	24 ⇒	5	5 ⇒	24	10	20	50	
h	0 ⇒	30	0 ⇒	22	5	136	0	
平均	9% ⇒	67%	27% ⇒	70%	34%	93%	79%	



ライン品

製品ラインナップの拡大と価格戦略

- ・ 高付加価値製品（ロングライフ、IoT）の供給
- ・ 既存製品拡販に向けた価格戦略の展開

拡大計画

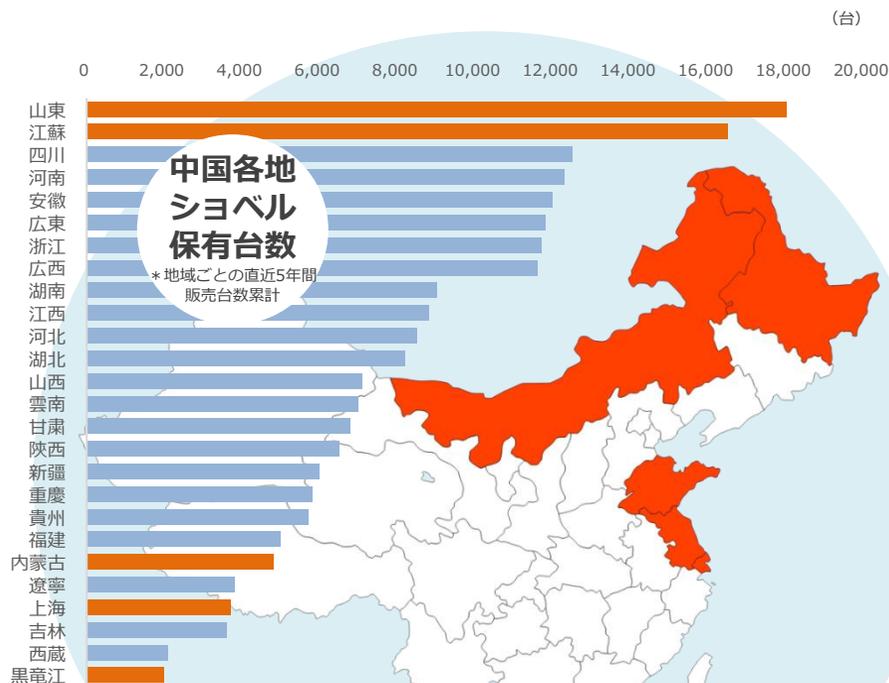
補給品

当社ブランドを使用した販売戦略の展開

- ・ 建機メーカー保証期間終了後、販売代理店との直接取引

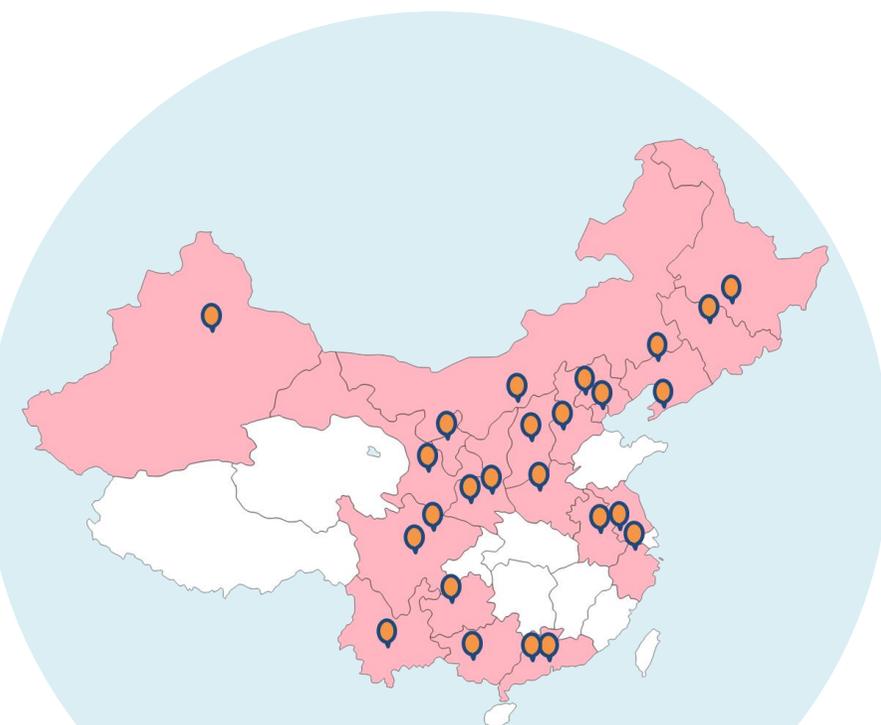
代理店チャネルの展開状況

シヨベル保有台数の多いエリアをカバーする代理店をパートナーに選定



部品商社チャネルの展開状況

中国25社の代理店ネットワークを持つ部品商社をパートナーに選定



さらに需要拡大する補給品市場に
販売エリア拡張で臨む

“マスク市場を取り巻く環境”

事業環境

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う恒常的なマスク需要増大
- 感染収束の目途はいまだ立たず、当社の**エアフィルタ**、**ヘルスケア分野でのビジネス拡大チャンス**が到来

家庭用マスク(不織布)マスクの市場推移



※2020年9月家庭用国内衛生関連品市場調査 富士経済データ

当社の今期の取り組み

合成高分子系ナノファイバー 「YAMASHIN Nano Filter™」を活用した マスクを製品化

- ECサイトでの高機能マスク・取り換えシート販売強化
- 医療用と同程度の性能をあわせもつ一般消費者向けマスク「Zexeed」がドラッグストア・ECサイト等への供給を開始
- 「究極のヤマシン・フィルタマスク」シリーズが2020年日経優秀製品・サービス賞 日経産業新聞賞を受賞

今後の目標と戦略

当社の戦略：

国内マスク市場 **約 10%** (売上高500億円)

中期的 (2024/3期) 目標

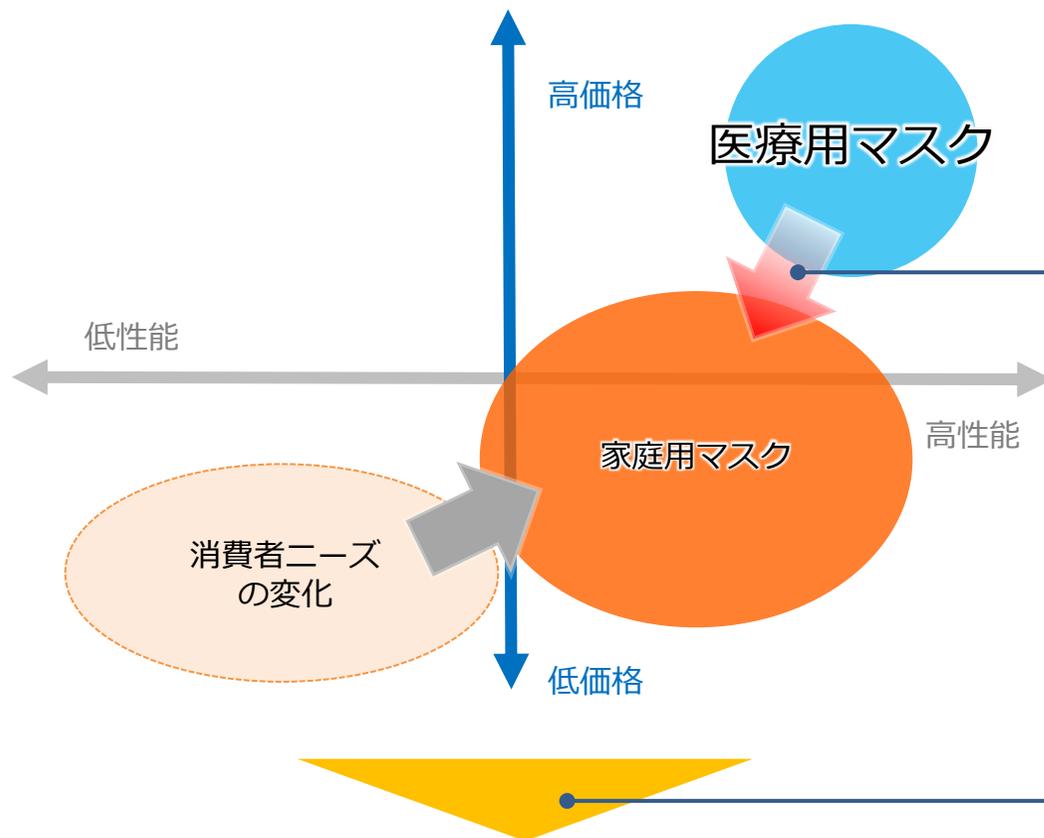
国内高機能マスク市場トップシェア

医療用防塵マスク市場への参入

戦術：

- ・ 家庭用マスク高機能マスク・ラインナップ及び販路拡大 (ドラッグストア、大手ECサイトへの出店等)
- ・ 医療用認証取得 (2021年予定)

マスク市場のセグメンテーションとヤマシンの戦略



ヤマシンの目指す戦略

医療用マスクで得る
ノウハウやブランドを活かし
家庭用マスクへ展開

ヤマシンの持つ つよみ

約70年培った

モノづくりを極めるDNA

- 1** 安全・安心な
国内生産供給体制を構築
- 2** 世界トップレベルの
ろ過技術
- 3** 革新的
ナノ立体構造
フィルタ



建機用フィルタを
突き詰めた結果
開発できた新技術

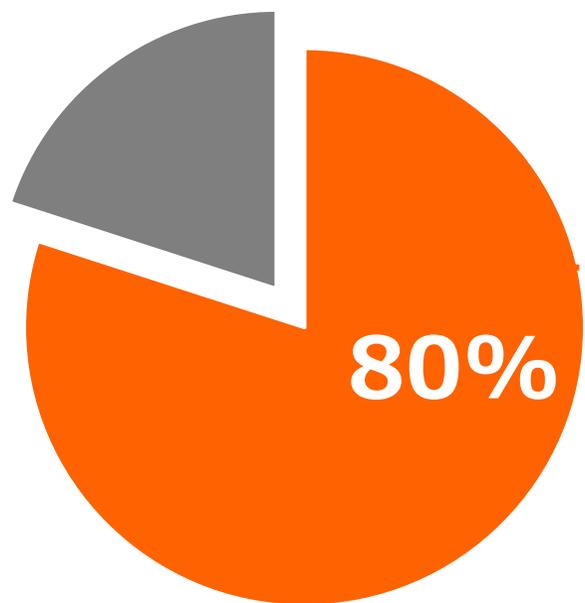
販路拡大のための施策

家庭用高機能マスク、ラインナップ拡大、医療用認証取得、販路拡大（ドラッグストア、コンビニ、AMAZON、楽天等）

**2024/3期までに国内マスク市場10%、
売上高500億円を目指す**

消費者ニーズの変化により、家庭用マスクに 高機能セグメントという新たな成長市場が出現。

国内マスク市場の内訳



■ 家庭用マスク ■ 医療用防塵マスク

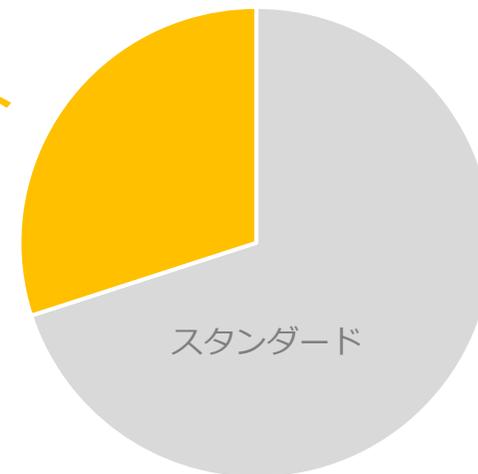
● 国産家庭用マスク

■ 高機能セグメント

高機能セグメント
 マスクは
 全体の**30%**

※1枚80円以上の価格を高機能セグメントマスクと定義

ヤマシンフィルタが
 製造するマスクは
 高機能セグメントに
 分類



マスク市場予測

現在、昨年のマスク不足の際に大量生産された海外製マスクの在庫調整が発生しているが、中期的には良質な日本製・国産マスクへの需要拡大が見込まれている

エントリーモデル「究極のヤマシン・フィルタマスク」の販路拡大 フラッグシップモデルZexeedの生産効率化を推進

ヤマシンの目指す戦略

医療現場等で必要とされる

高機能マスクの認定取得を目指し、

家庭用マスクにおいても

医療レベルの同等程度の高い

付加価値を誇る製品を市場に提供

することで、ブランド力を強化する。

家庭用マスクの他製品との差別化ポイント

- ① 医療用と同等のフィルタ性能
(N95規格同等以上)
- ② 漏れ量 (N95規格と同等)
- ③ 呼吸のしやすさ・快適さ



究極のヤマシン
フィルタマスク



Zexeed



販売体制

ベンダーと連携し
ドラッグストア・
コンビニエンスストアへの
拡大網を拡充



今期中の完了を目指す



生産体制

生産ラインの
拡充と強化



今期中の完了を目指す

一般供給網に加えて
ECサイトにおける
取り扱いを強化

生産ラインの見直し、
効率化の推進

「究極のヤマシン・フィルタマスク」シリーズが 2020年日経優秀製品・サービス賞 日経産業新聞賞を受賞



30枚入り
980円(税抜)

高機能インナーシート
布マスクや不織布マスク



5枚入り
750円(税抜)

高機能フィルタ使用
洗って繰り返し使用可能



3枚入り
750円(税抜)

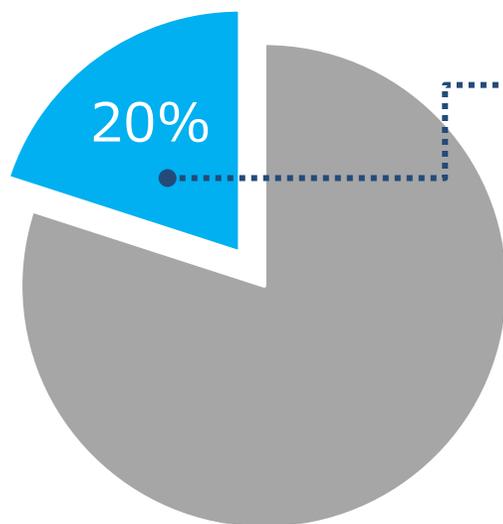
医療用レベル(N95マスク)
フィルタを採用



「日経優秀製品・サービス賞」とは？
その年特に優秀であった製品・サービスを日本経済新聞社が表彰するもの。
今回39回目を迎える。

高い密閉性と長時間装着時も呼吸がしやすい性能を活かし 今期のDS2の認証取得予定

国内マスク市場の内訳



■ 家庭用マスク ■ 医療用防塵マスク

【医療用（ゼクシード.6240）の強化】

独自技術を活かして形状を差別化、医療現場等で必要とされる更なる高機能マスクの認定を21年4月に取得予定（日米欧の各認証*）

- ① フィルタ性能（捕集性能約99%）
- ② 漏れ量（1%未満の超気密性）
- ③ 呼吸のしやすさ（医療マスクNo.1）
※当社比



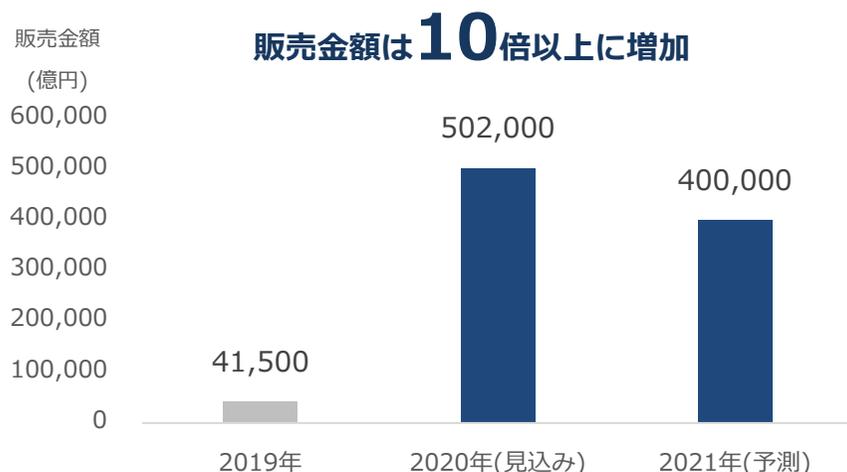
圧倒的な差別化を実現

*日本における国家検定規格（DS）、米国におけるNIOSH規格（N95）、および欧州におけるEN規格（FFP）

【医療用流通を目指したパートナーと新規契約】

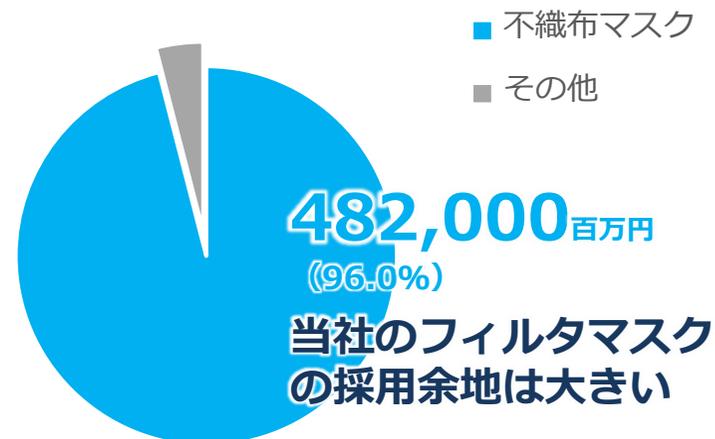
独自技術を活かして形状を差別化、医療現場等で必要とされる更なる高機能マスクの認定を取得予定（日米欧の各認証*）

家庭用マスク(不織布)マスクの市場規模

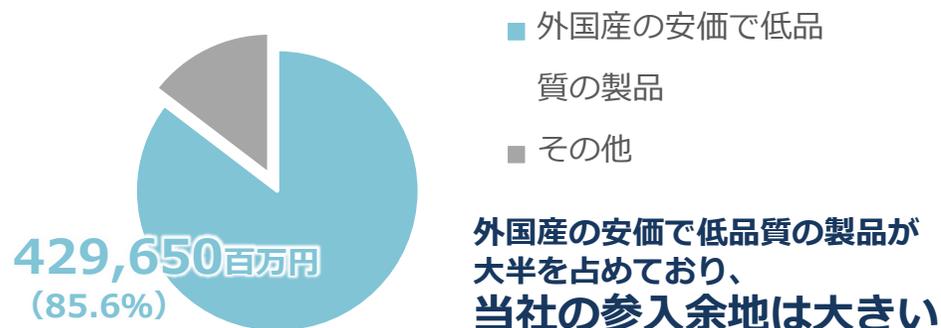


※2020年9月家庭用国内衛生関連品市場調査 富士経済データ

家庭用マスク(不織布)マスクの製品内訳



家庭用マスク(不織布)マスクの競合



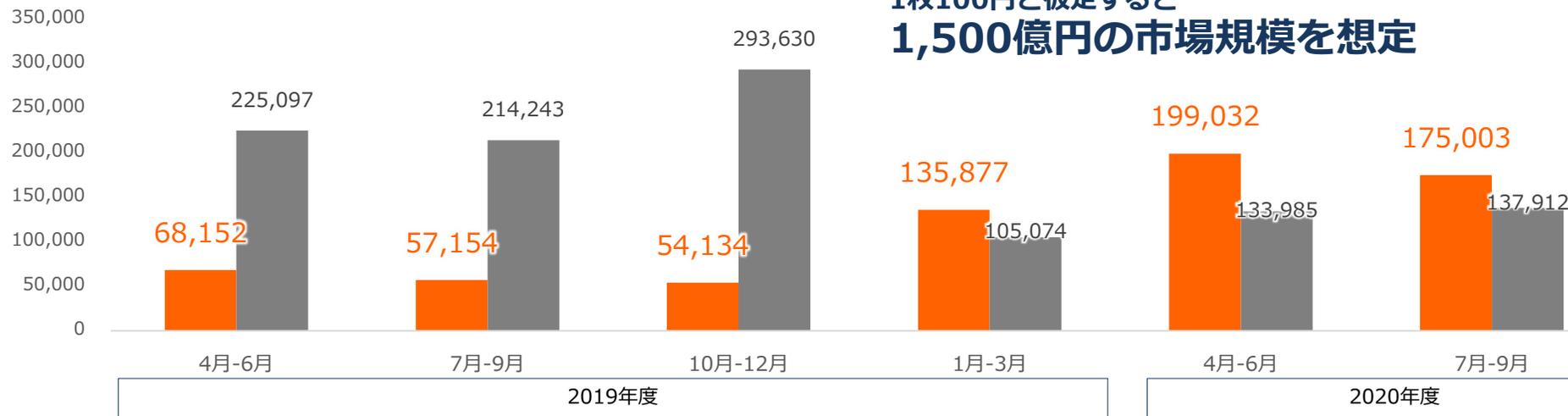
販売チャネル



医療用マスク生産（国産・輸入）数量

※日本衛生材料工業連合会調べ

(単位：千枚)



2020年度上期概況

- ・家庭用マスクの鋭角な伸びと比較し、医療用は昨年からの10%程度の伸びにとどまっている。
- ・もともと輸入率が高いカテゴリであるがコロナ禍で輸入が大きく滞った。
- ・国産の枚数は増えたが輸入減との相殺で、全体としては10%程度の伸張。
- ・マスクの供給が不足していた時期でもあり、需要が満たされるようになったのは2020年9-12月期になってから。

2020年度下期見通し

- ・10-12月期、1-3月期それぞれの期間4-5億枚、通期で15億枚前後を想定。
- ・昨年実績の11.5億枚からは微増を想定。
- ・中国製のマスクは医療現場における評価が芳しくないため以前のような海外比率に戻ることは無く、国産シフトが引き続き進行を見込む。
- ・医療用マスクのうち、N95グレードの感染症対策マスクの国内需要は月1,500万枚程度。

2021年度 見通し

- ・足元では医療用マスクの値崩れが起き始めており、ある程度供給は満たされている。
- ・各メーカーにおいて増産に向けた設備投資は2021年3月期にピークアウトを迎える。
- ・コロナの収束状況次第であるが、2021年度は2020年下期実績の同程度を見込む。

目次

参考資料

① 当社の取組みについて



新素材・新技術による環境対応で製品需要の拡大を目指す

■ 建機市場におけるシェアアップ

付加価値向上による機械故障件数の減少・建機寿命の延長



環境負荷低減

稼働時間 3倍

ハイブリッドフィルタ
ガラス繊維×ナノファイバー



IoTによる「故障予知」を実現

清浄度センサ

- ・油、水の清浄度測定
- ・低コスト
- ・コンパクト設計

ライフセンサ

どのくらいフィルタにゴミが詰まっているか、段階的なモニタリングを行う

■ 中国市場 環境対応で新規顧客獲得

高品質な超精度フィルタにて
CO2削減に貢献



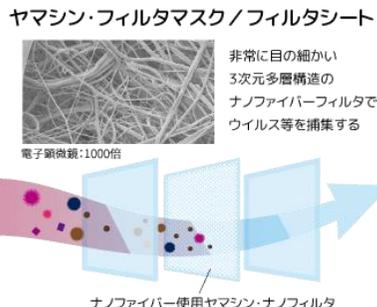
第4次環境規制対応に向けた
新車需要の取り込みを加速



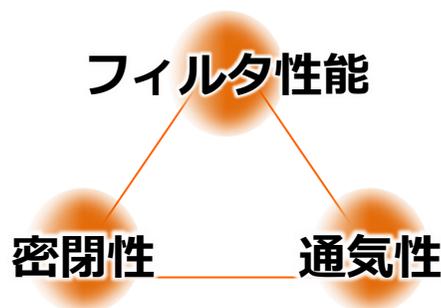
総合フィルタメーカーのヤマシンだからできた 医療用レベルの高機能マスクの製造・発売を開始

ヤマシンマスクの 3つの特長

1. 微細構造でウイルスをキャッチ
2. 長時間使用しても性能低下はわずか
3. 安全・安心な国内生産供給体制を構築



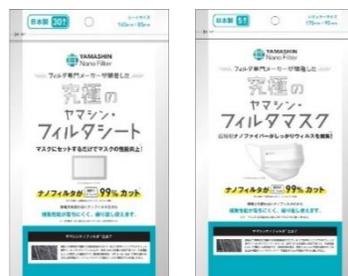
ろ過理論を適用した ヤマシンマスクの新基準



- フィルタ性能、密閉性、通気性の3要素に対してコダワリ抜いた次世代マスク「ゼクシード」を発表

エントリーモデル

2020年9月4日より
全国ドラッグストアにて
販売開始



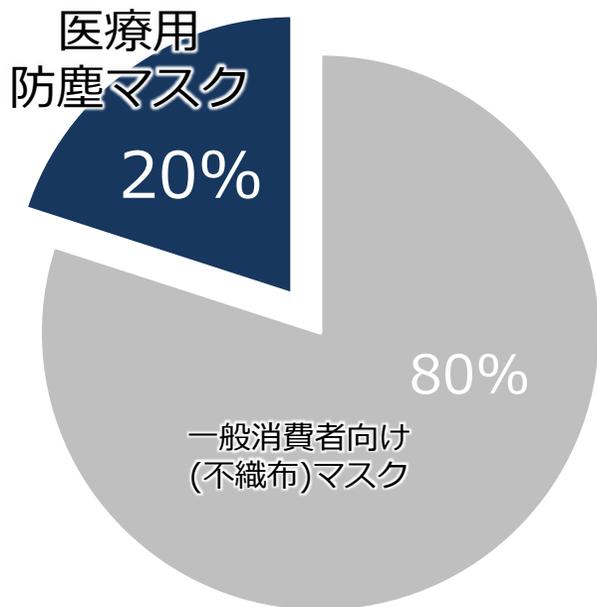
フラッグシップモデル

2020年9月1日
ECサイトにて先行予約
開始予定





医療用防塵マスク分野でも認証を取得予定。 シェア拡大を目指すとともにさらなる開発を継続



■ 一般消費者向け(不織布)マスク ■ 医療用防塵マスク

今後の開発方針-ラインナップ拡大

医療現場等で必要とされる更なる高機能マスクの認定取得予定（日米欧の各認証*）
一般消費者向け市場では、独自技術を活かして形状を差別化し、より高機能なマスク開発を継続

- ① フィルタ性能（N95規格最高値）
- ② 漏れ量（1%未満の超気密性）
- ③ 呼吸のしやすさ において

他社をしのごう圧倒的な差別化を実現

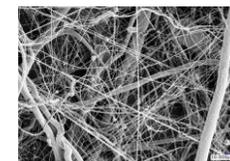
*日本における国家検定規格（DS）、米国におけるNIOSH規格（N95）、および欧州におけるEN規格（FFP）

エレクトロスピンニング法



特性：
平面・均一な
細い繊維
*電子顕微鏡（2000倍）にて撮影

ヤマシナノフィルタ



当社の
独自特許技術
特性：立体・多様な繊維が混在



エアフィルタ事業の事業拡大による 大気汚染の防止に貢献

事業環境

新興国における経済発展に伴う深刻な空気汚染等
大気汚染のリスク増大

エアフィルタ市場は拡大を継続す
ると見込まれる

エアフィルタ市場 年平均成長率予測

3.5% (2050年まで)

当社が貢献できること

フィルタの専門メーカーとして、高機能フィル
タで健康被害を低減

ライフサイクルの長期化によるメンテナン
スコストを低減



環境および社会課題解決を目的としたエクイティ・ファイナンス サステナビリティプロジェクトを実施

中期的持続的な事業成長と ESG への積極的な取り組みを両立させることを目的としたエクイティ・ファイナンスにより、110億円を調達。

サステナビリティプロジェクトが創出するインパクト

プロジェクトによるアウトプット	アウトカム	インパクト	インパクト指標(年間)
再エネ由来電力の購入 太陽光発電システムの導入	自社 電力に占める再生可能エネルギーの割合増	再生可能エネルギー	632 tCO2
ナノファイバー生産設備の増設	ユーザー(建機) 建機用油圧フィルタのロングライフ化による廃棄量減	汚染防止及び抑制	4,000 トン
	メーカー(衣類・寝具) 合成ダウンによる天然ダウン使用量削減	陸域及び水生生物の 多様性の保全	23 トン
	ユーザー(農業) 高断熱性農業用シートによる燃料消費量減	エネルギー効率	24,440 tCO2
ナノファイバーリサイクル設備の導入	ユーザー(建機など) 各種フィルタの廃棄量減	汚染防止及び抑制	(定性評価)
一般用マスク製造機械の増設	ユーザー(一般) 一般用マスクの増産	必要可能な サービスへのアクセス	2.3億 枚
医療用マスク製造機械の増設	ユーザー(医療従事者) 医療用マスクの増産	必要可能な サービスへのアクセス	(定性評価)
ナノファイバー技術の研究開発	ユーザー(一般) セパレーターの開発による燃料電池普及拡大	クリーンな輸送	(定性評価)
	メーカー ユーザー ナノファイバー高性能化(微細化、特性付加)	環境・社会側面に 幅広い可能性	

選定理由の セカンドパーティ・オピニオン

- 技術および素材の開発により、建設機械向けフィルタの提供を通じて建機の環境対応等への貢献を続けていること
- 全従業員の残業ゼロなど働き方改革を率先して進めてきたこと

今後の改善・注力ポイント

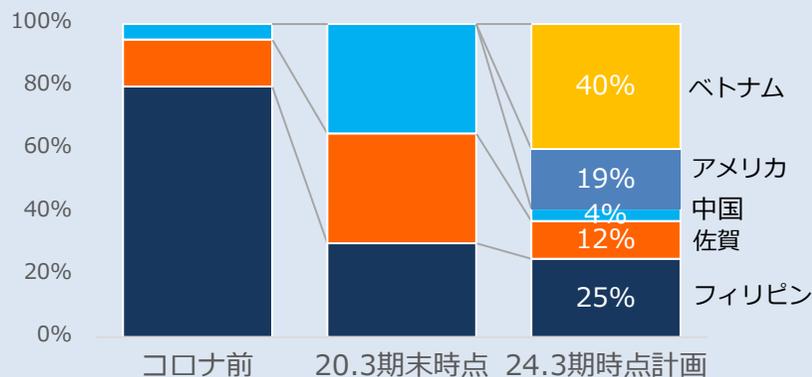
- CSR調達の推進などバリューチェーンを通じたESGの取り組み推進や、ESG情報の開示

出典元：株式会社日本総合研究所作成「Second Party Opinion」より

URL：http://www.Yamashin-filter.co.jp/ja/news/news_20200908_001/main/00/link/SecondPartyOpinion.pdf

生産体制への影響

建機用油圧フィルタ 生産割合推移



- 外出禁止令の影響により、フィリピンでの生産に影響を受ける
- **各拠点へ生産量を配分し、安定的な供給を継続**

生産拠点の再編

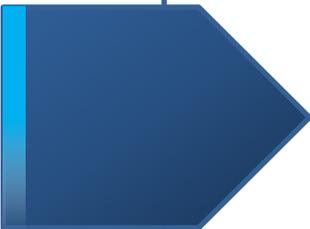


BCPの一環として生産拠点の再編に着手、
安定的・効率的な供給体制を見直し
(ベトナム工場2021年竣工予定)



世界トップシェアを誇る建機用フィルタ事業

建機用フィルタ事業は、インフラ整備の投資拡大及びアフターマーケットの強さを背景に持続的な成長が見込まれる

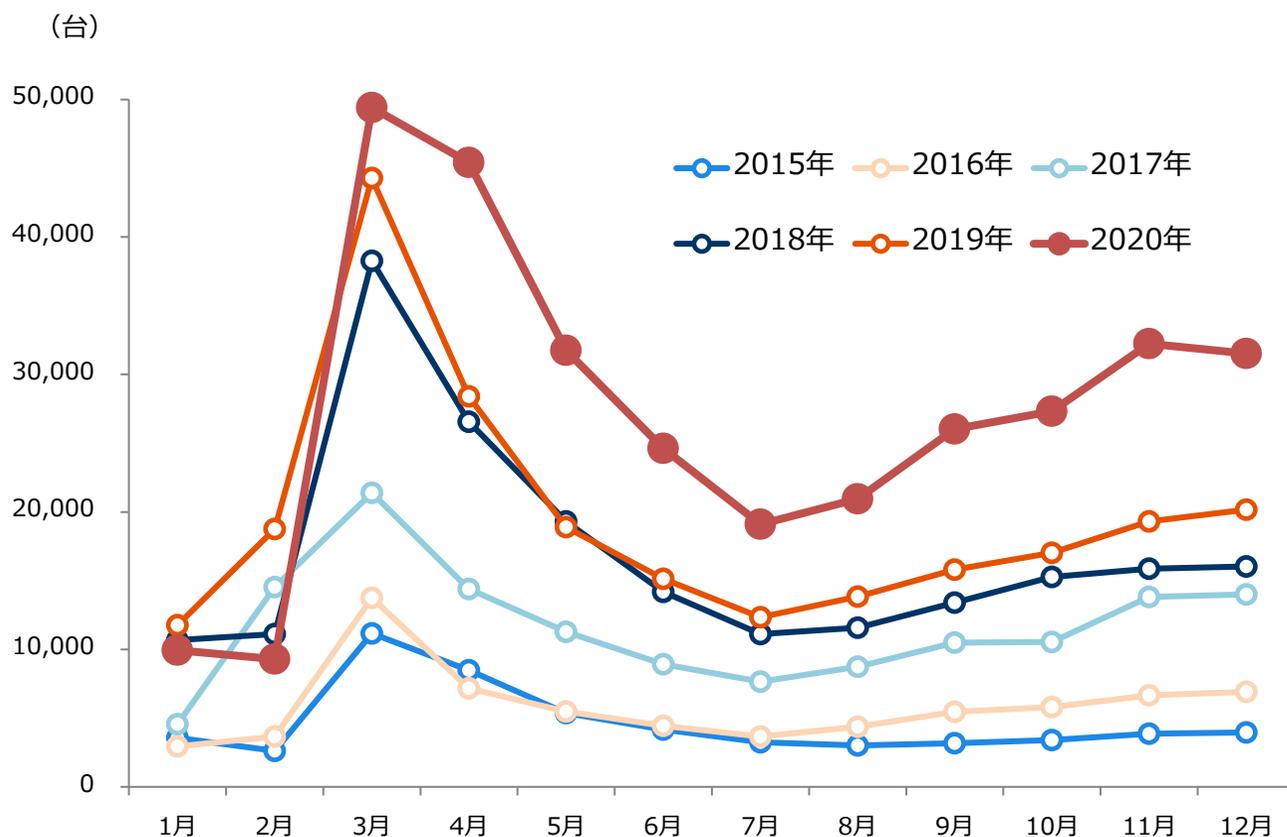


売上及び利益面で大きな貢献が予想される新規事業

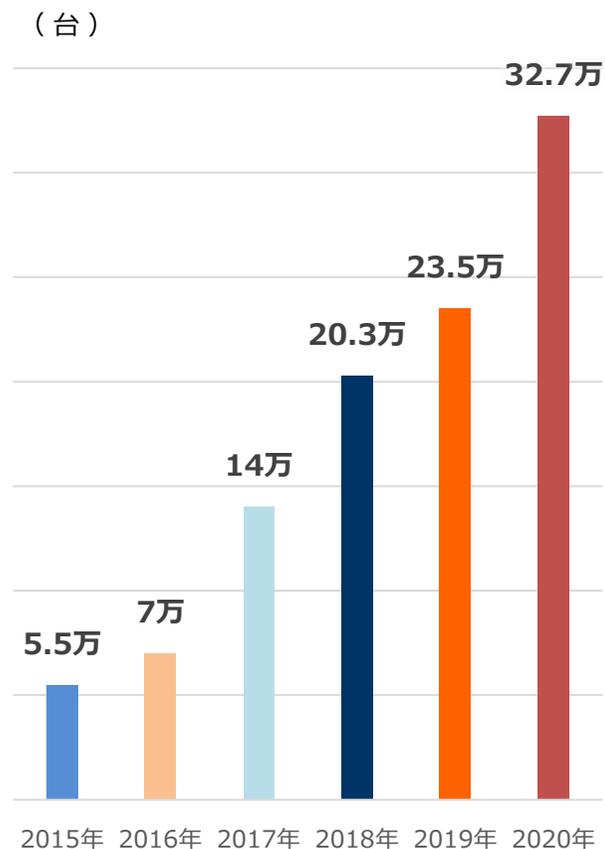
多様な用途への活用が期待される「YAMASHIN Nano Filter™」が成長ドライバー

2020年の中国建機需要は大規模公共投資に下支えされ好調

販売台数年・月別推移



年間販売台数推移

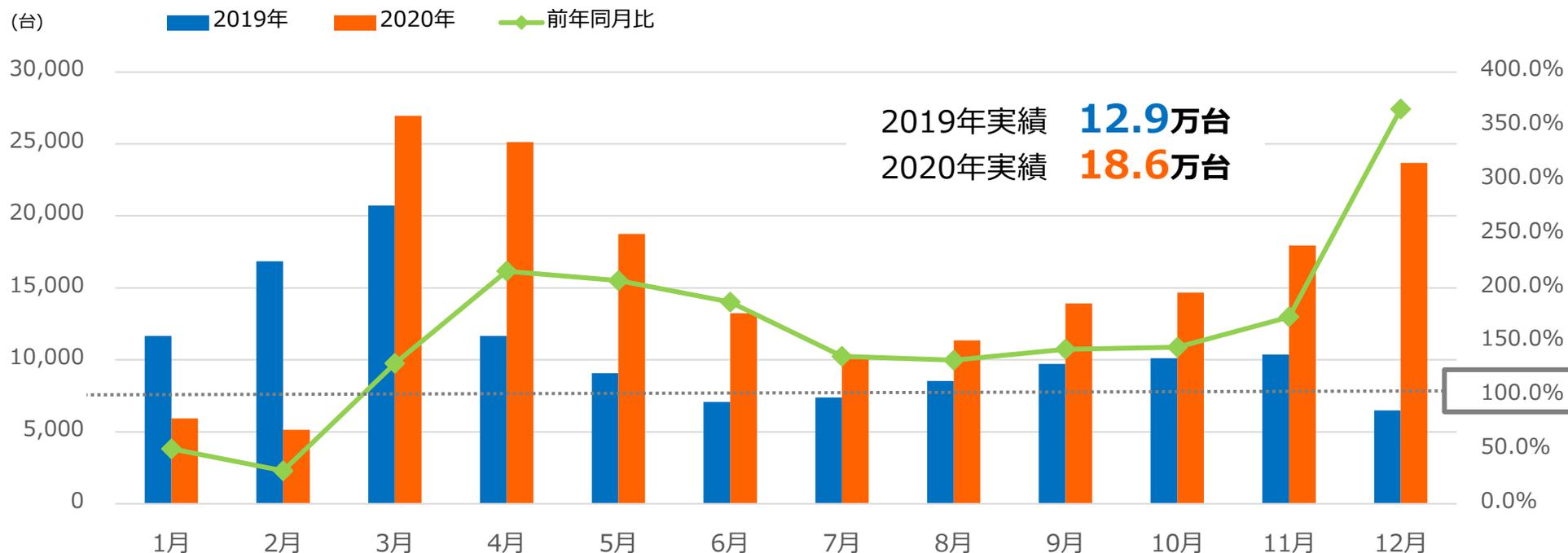


(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

2020年の中国系建機メーカーは大幅増産

- 春節の延長、新型コロナウイルスの感染拡大により、生産計画が後ろ倒しとなる
- 2020年の主要中国系メーカーの生産台数は、2019年比で **+44.2%**

主要中国系建機メーカーの生産実績推移

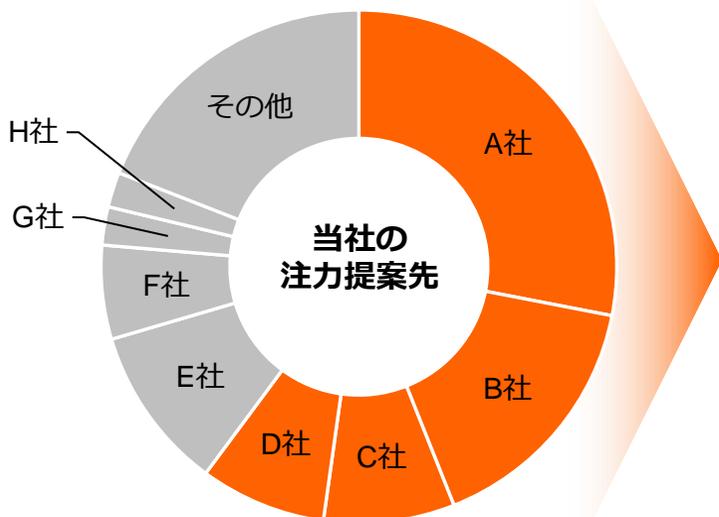


(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

春節の延長、新型コロナウイルス感染拡大により 稼働時間が大きく減少

中国建機市場における、主要建機
メーカーシェア

中国系建機メーカー

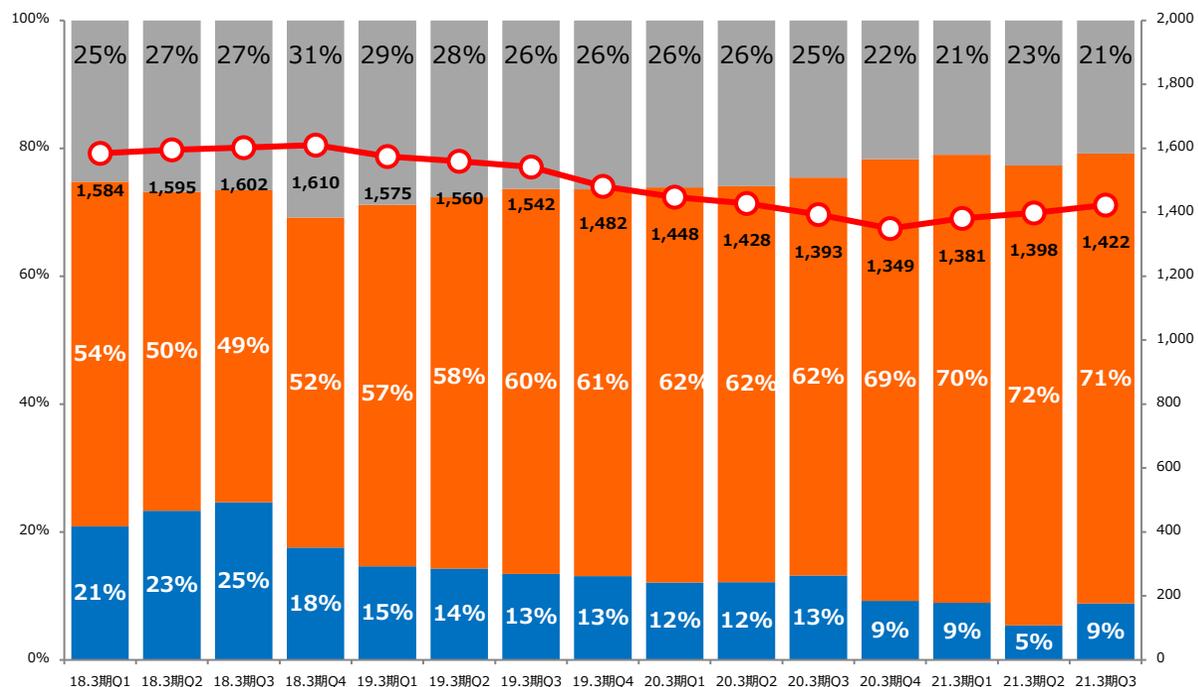


中国市場販売シェア推移

■ 日系企業

■ 中国企業

(年間稼働時間)



中国系建機メーカーへの提案に注力し、シェアを拡大する

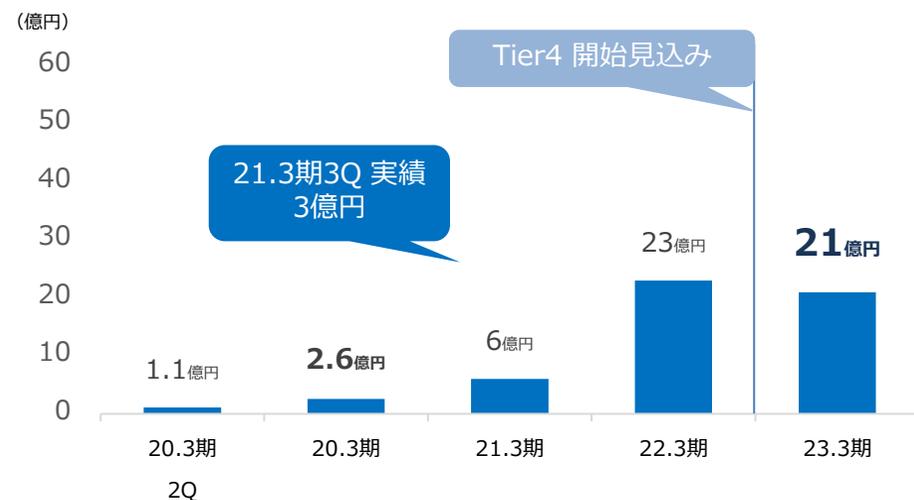
市場環境

- 中国政府主導によるインフラ投資の拡大基調継続
- 第4次環境規制開始にともなう当社独自技術の需要増加
- エンドユーザの消費マインドが価格重視から品質重視に変化
- 新車累積販売台数の増加に伴うアフターマーケット規模は大幅に拡大
- 中国系建機メーカーの海外展開にともなうグローバルサプライヤのニーズの高まり

ライン品売上拡大計画

製品ラインナップの拡大と価格戦略

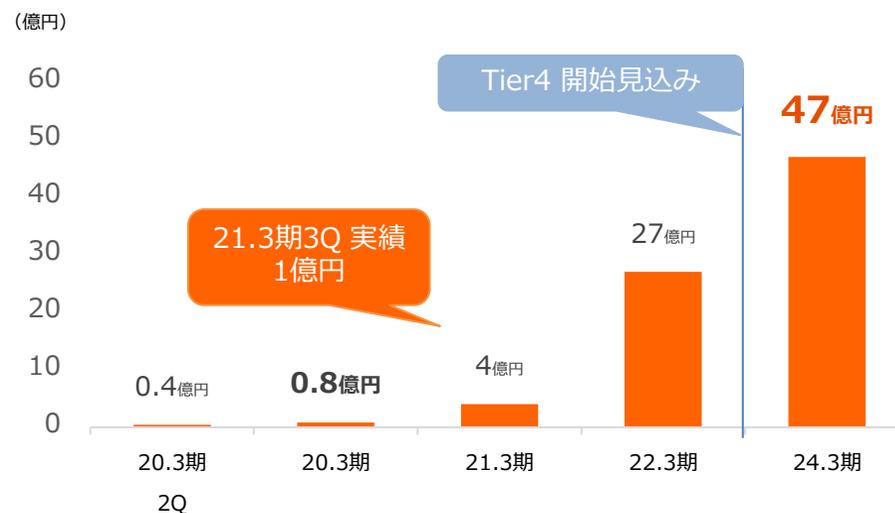
- 高付加価値製品（ロングライフ、IoT）の供給
- 既存製品拡販に向けた価格戦略の展開



補給品売上拡大計画

当社ブランドを使用した販売戦略の展開

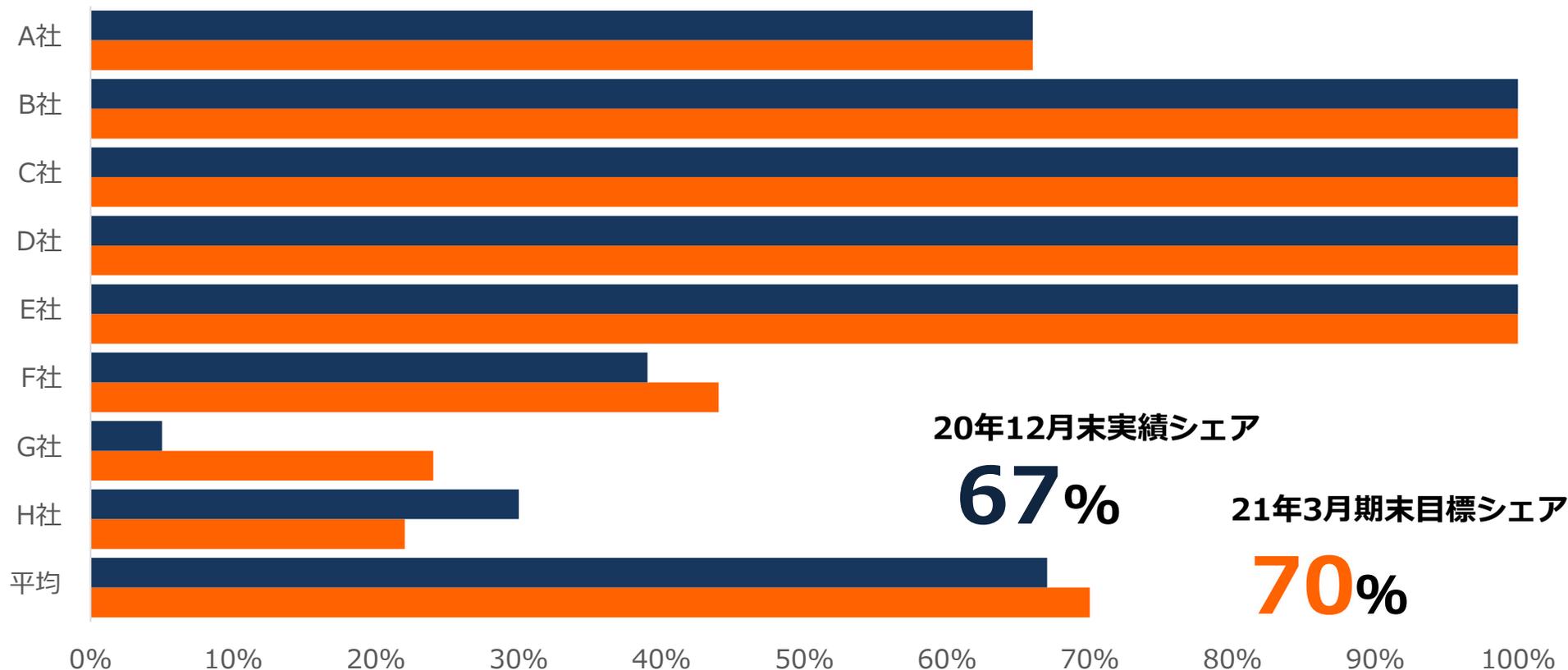
- 建機メーカー保証期間終了後、販売代理店との直接取引



高付加価値製品を戦略製品と位置づけ、営業活動を展開

主力製品 シェア拡大目標

■ 20年12月末実績シェア ■ 21年3月期末目標シェア



20年12月末実績シェア

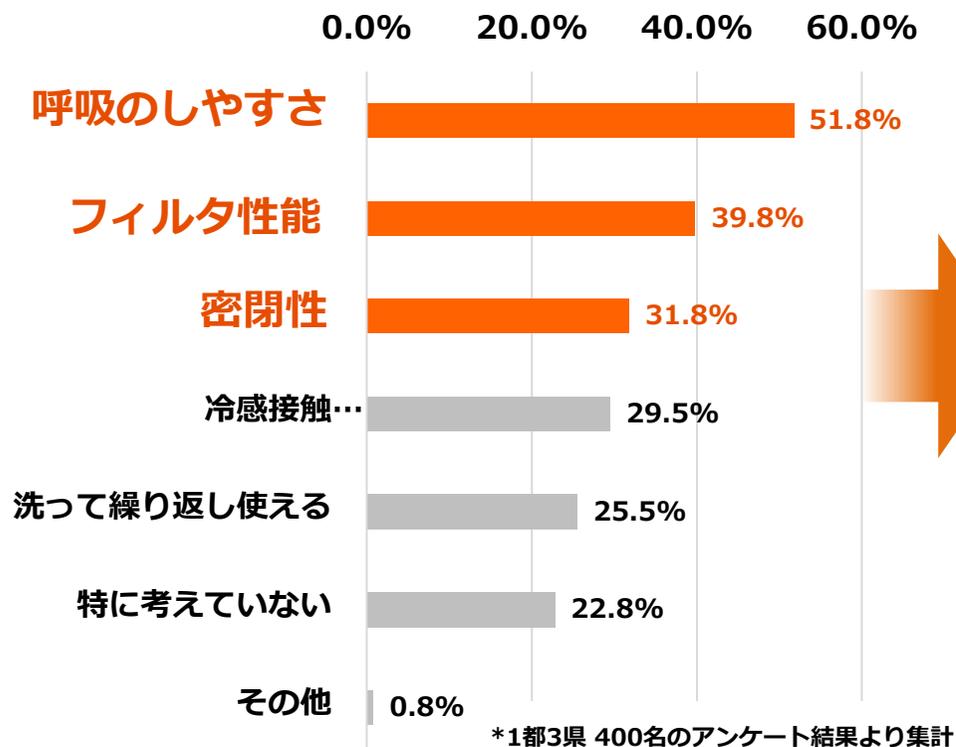
67%

21年3月期末目標シェア

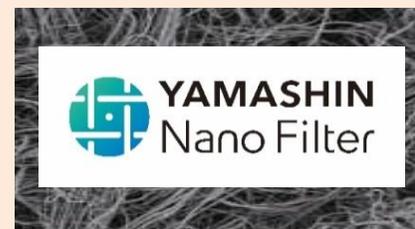
70%

一般消費者がマスクに求める機能と当社が建機用フィルタで培ってきた濾過技術に高い親和性

一般消費者がマスク購入の際に重視する機能



総合フィルタメーカーの ヤマシんだからできた 高機能マスク



建機用フィルタで培った**量産技術改良メルトブロー製法**を応用

- 微細構造でウイルスをキャッチ
- 長時間使用しても性能低下はわずか

当社は建機フィルタの専門メーカーとして60年以上、濾過の技術を磨き・ノウハウを蓄積。

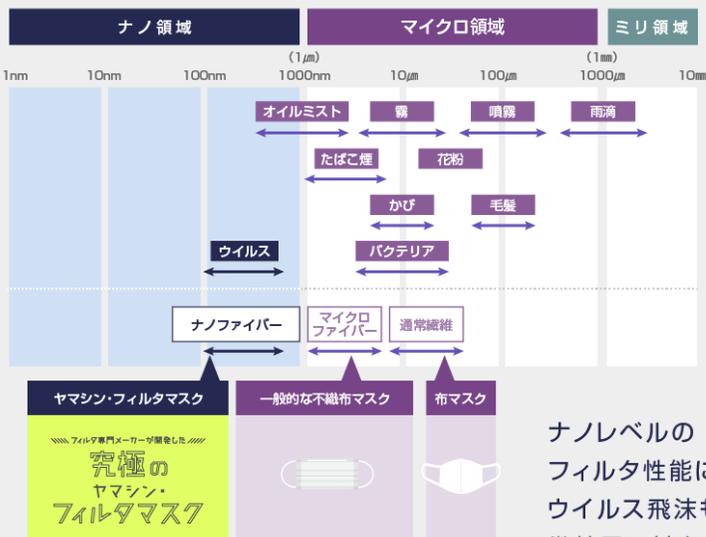
その過程で開発した量産技術「YAMASHIN Nano Filter™」は、超極細繊維の小さな孔で異物をキャッチ、高機能が長く続きする特徴を保持し、マスクへの親和性が非常に高く技術転用が容易。

「YAMASHIN NANO FILTER™」を使用したマスクは、 高い捕集性能を持つとともに洗濯後も変わらない性能を維持。

高い捕集性能

一般的な不織布マスクは、水に弱い静電気により捕集を行っているのに対し、フィルタの物理的特性で微粒子を捕集、高い捕集効果を発揮

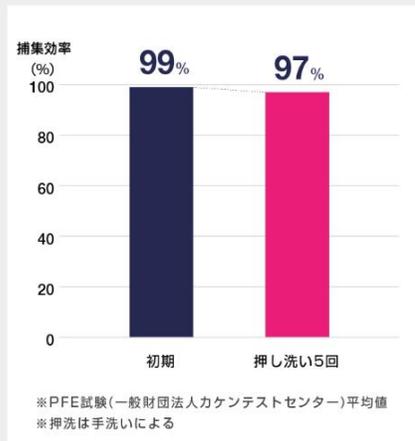
ろ材種類と捕獲物の対照表



捕集性能の持続

「YAMASHIN NANO FILTER™」を使用したマスクは、捕集性能の低下はほとんどなく、押し洗いを5回行っても捕集効率は97.6%、高いリユース性を誇る

ナノファイバーを使用した
高性能フィルタで
5回押し洗い後も高性能をキープ。



PFE試験 (捕集効率試験)

	洗濯前	洗濯後
フィルタマスク	99.8%	97.6%
ゼクシード	99.9%	98.9%
一般的なマスク※	99.0%	60.0%

一般財団法人カケンテストセンターにて実施
※一般的なマスクは参考値

高性能ナノフィルタを使用したマスクを多種ラインナップ

一般消費者向けマスク

医療用マスク



30枚入り
980円(税抜)

高性能インナーシート
布マスクや不織布マスク



5枚入り
750円(税抜)

高性能フィルタ使用
洗って繰り返し使用可能



3枚入り
750円(税抜)

医療用レベル(N95マスク)
フィルタを採用

ゼクシード.6240



10枚入り
3,000円

DS2規格取得見込み
21年2月以降予定

独自の立体プリーツ形状により、 高い密閉性と長時間装着時も呼吸がしやすい快適さを実現。

快適さの構造

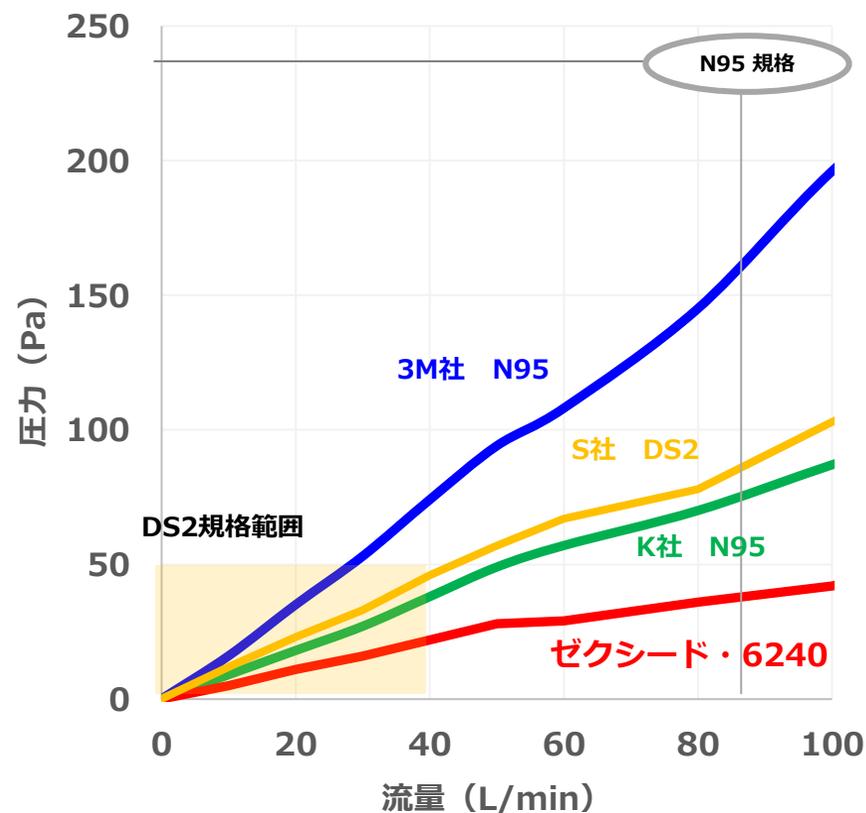
一般的な不織布マスクは十分な空間がないため息苦しくなりやすいが、

独自の立体構造「**立体プリーツ形状**」とろ過面積を上げることで快適な装着を実現

一般的な使い捨てマスク

ゼクシード.6240

ろ過面積 約590cm²
(当社比2倍以上の面積)



究極のヤマシン・フィルタマスク ゼクシード



新商品ゼクシードの発表およびピップ株式会社と共同戦略発表会を開催

The Specialist in Filtration
YAMASHIN



ヤマシン・フィルタマスクとフィルタシート 好評発売中!
Zexeedは10月中旬より発売!
お求めは全国ドラッグストア、ECサイトにて

究極のヤマシン・フィルタマスク



ナノファイバー製マスクと相模鉄道がコラボ企画



20/10/15 (木) 広告展開開始
①電車内の中吊り広告 ※相鉄線全車両
②インスタグラム③そにゃんブログ④相鉄HP
20/10/24 (土) マスク発売
販売チャネル：相鉄グッズストア、駅構内のファミリーマートなど

ナノファイバー製マスクがJR東海鉄道倶楽部オリジナルマスクに採用



東海道新幹線・新型車両「N700S」をあしらったオリジナルデザインマスクを販売開始
10/14 (水) JR東海倶楽部HPにて販売開始
10/16 (金) 東海道新幹線主要駅のキヨスク、名古屋 Marriott アソシアホテル等で店頭販売開始

目次

参考資料

② 当社基本情報

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております。また、当社独自に開発した合成高分子系ナノファイバーを用いたオリジナルマスク及び取替用インナーシートの製造・販売を2020年5月より開始し、2020年7月よりヘルスケア事業を新しい事業セグメントとして加えております。

分野	取扱製品	製品イメージ	売上構成 2021年3月期業績予想
建機用フィルタ	建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 様々な種類の建機		
産業用フィルタ	様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械		
プロセス用フィルタ	顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ 用途: 電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界		
エアフィルタ	粗塵、中高機能のエアフィルタ 用途: 一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等		
ヘルスケア	合成高分子系ナノファイバーの特性である高捕集性能、密閉性、通気性を活かした高機能マスク、取替用インナーシート 用途: 国内外の一般消費者向け		

建設機械の稼働に不可欠なフィルタ 多様多彩なラインナップを提供

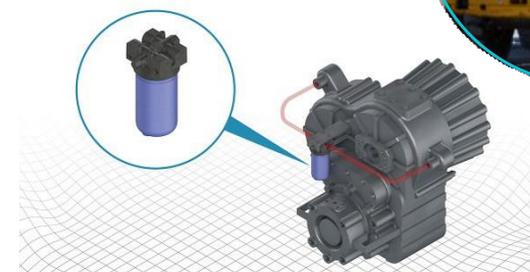
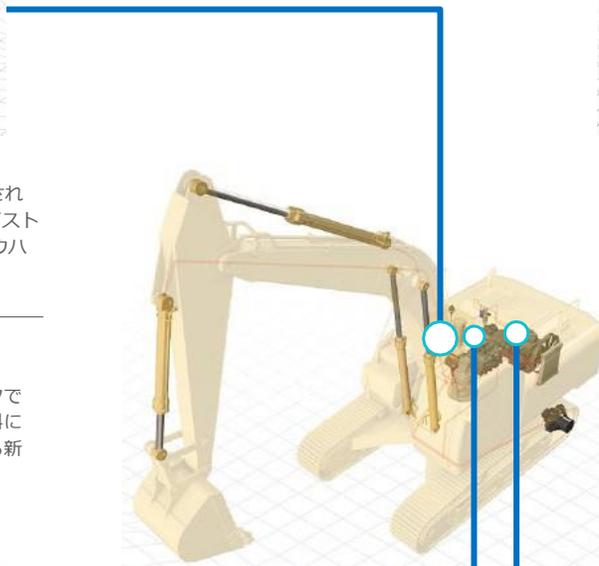
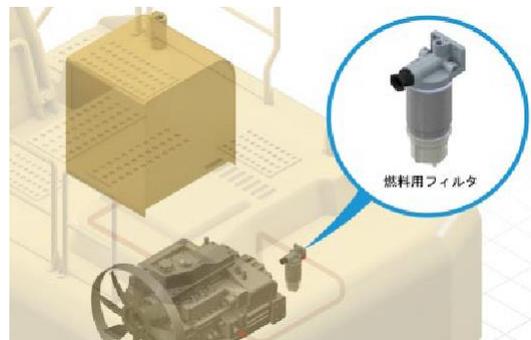


油圧用

シリンダー等の油圧機器の保護を目的に、建機に複数搭載されるフィルタです。建機の故障の原因は、約7割がオイル内のダストによる機器破損といわれています。当社では、創業以来のノウハウで最適なフィルタを提供しています。

燃料用

ディーゼル燃料に混入したダストの除去を目的としたフィルタです。昨今、世界的に進んでいる排ガス規制をきっかけに、燃料に求められる清浄度が高まっています。粗悪燃料が蔓延している新興国では、特に需要増が見込まれています。

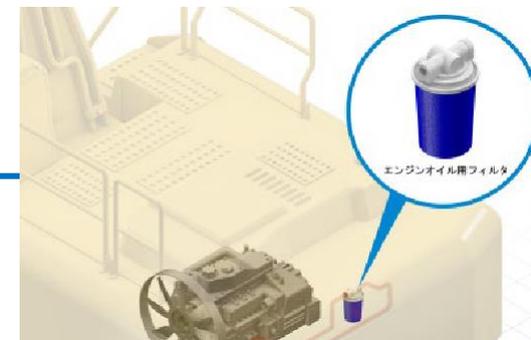


トランスミッション用

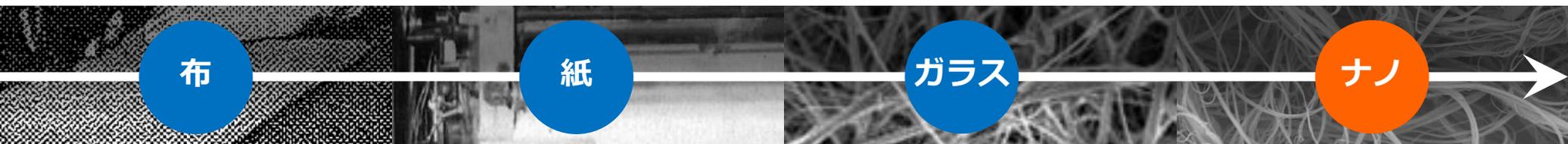
トランスミッション（変速機）機構を持つ建機に搭載されるフィルタです。トランスミッションは複数のギアで構成されるため、ギア同士の摩擦で金属粉等のダストが発生します。当社では自社製「ろ材」によってこのダストを適切にろ過し、機器のダメージを防ぎます。

エンジンオイル用

建機の各種エンジンに搭載されるフィルタです。エンジンの内部では動力を発生させるためにピストン等が高速運動をしています。エンジンオイル用フィルタは、その際に混入する摩耗（金属）粉やスラッジ（堆積物）等を除去し、性能低下や破損リスクを低減します。



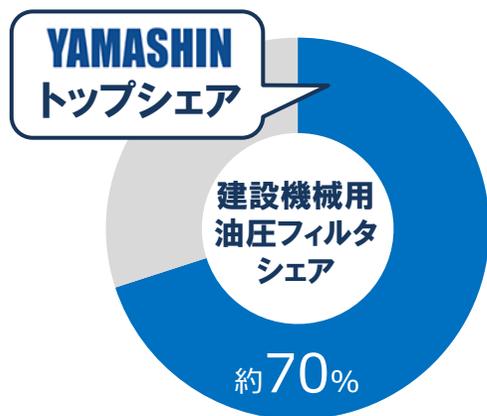
建設機械の進化に応じた、革新的なる材の研究開発力



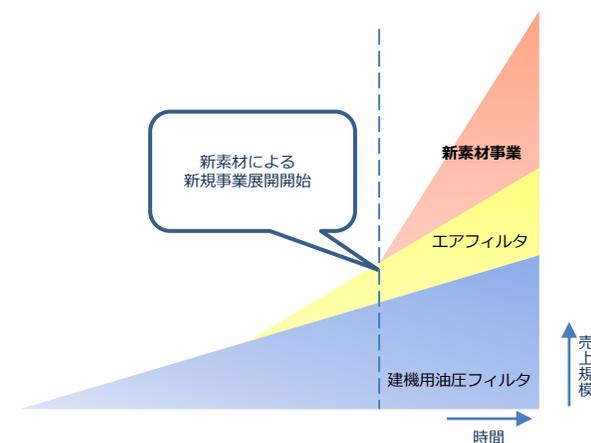
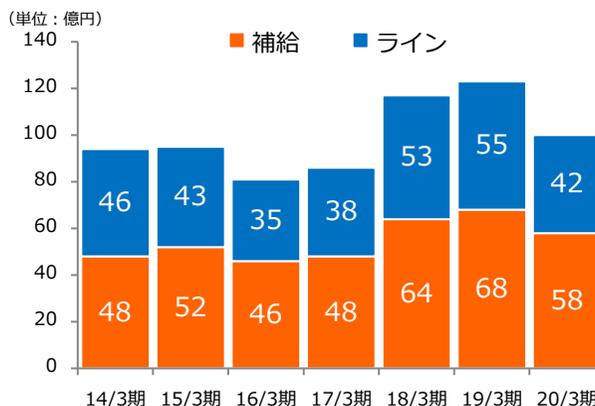
建機用油圧フィルタ市場での
圧倒的なシェア

新車需要・交換需要を取り込む
安定的な収益構造

新たに開発した革新素材による
ビジネス領域の拡大



国内における主要建機向け油圧フィルタ売上シェア（2012年度）
出典：矢野経済研究所



- 当社は効率的なインフラの整備に貢献してきた。
- 高い品質と豊富な実績に下支えされ、グローバル展開する日本・欧米・中国の大手建機メーカーに多くの製品が採用されている。

セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「**ライン品**」と「**補給品**」に分かれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ。重要指標は「**新車需要台数**」
- 補給品は交換部品用のフィルタ。重要指標は「**稼働台数**」×「**稼働時間**」

販売形態 地域別動向 コスト削減

- **販売形態**
 建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売。エンドユーザーへの直販は基本的にやっていない
- **地域別動向**
 地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- **PAC20 (Promptly Activated Cost reduction 2020)**
 全社的なコスト削減プロジェクト

用語	計算式
MAVY's	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産
Key Goal Indicator(KGI)	当期：累計実績値+予算、前期：年間実績値
Key Performance Indicator (KPI)	累計実績値比較

※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- **新素材導入による更なるシェア拡大**
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- **「総合フィルタメーカー」への飛躍によるビジネス領域の拡大 (エアフィルタ、YAMASHIN Nano Filter™、ヘルスケア用品への進出)**

WEAKNESS (弱み)

- 売上高の約7割が建機用フィルタに依存
- 人的リソース不足の懸念

THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 中国市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達
- **新素材商品展開の遅れ**

総合フィルタメーカーを実現し脱却予定

新素材による模倣品排除

育成事業

エアフィルタ

新素材事業

構造改革事業

STRATEGY MATRIX

基盤事業 (成長)

建機用
フィルタ

基盤事業 (安定)

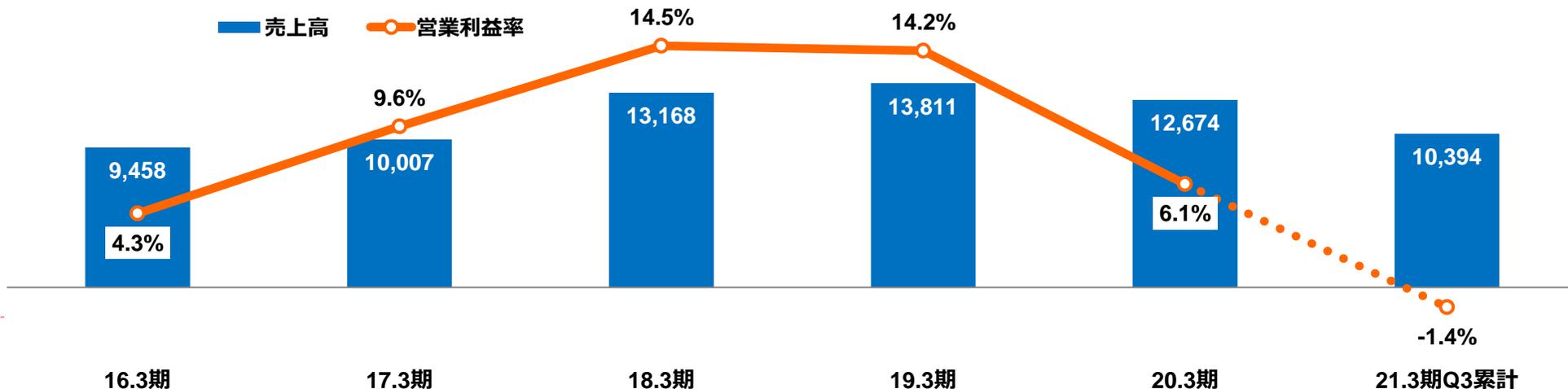
決算

参考資料

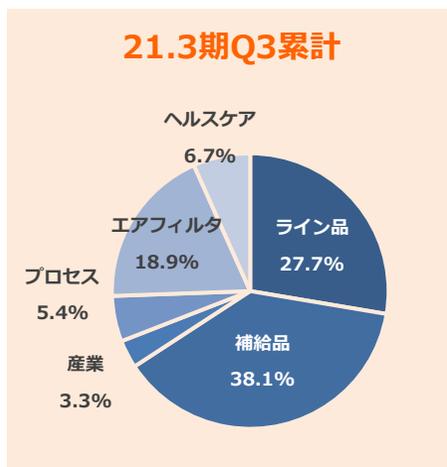
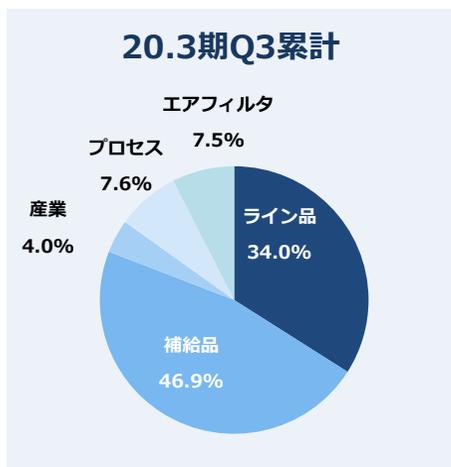
③財務ハイライト

売上高・営業利益率推移

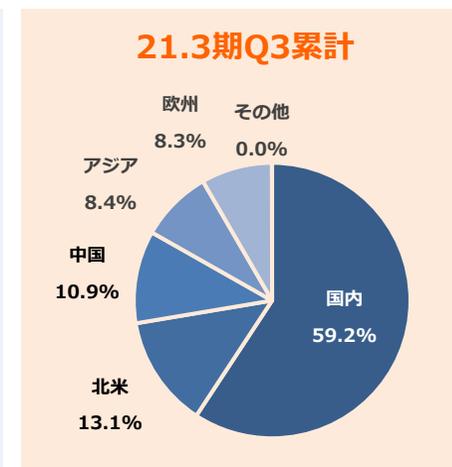
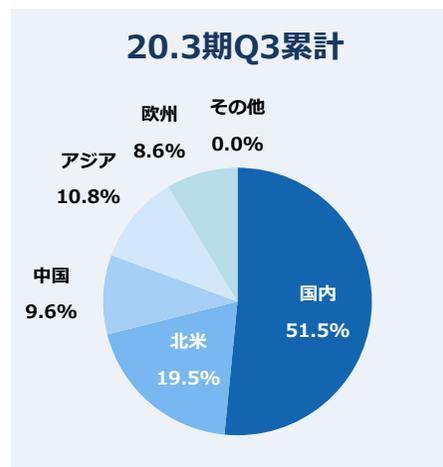
(単位：百万円)



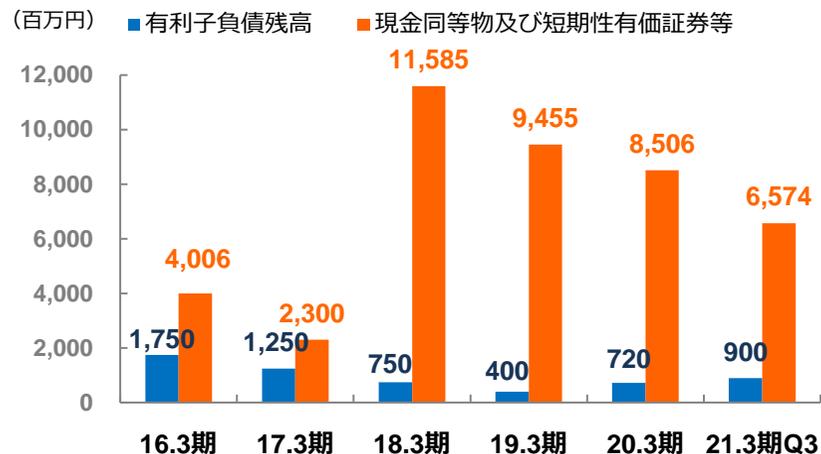
製品別売上高



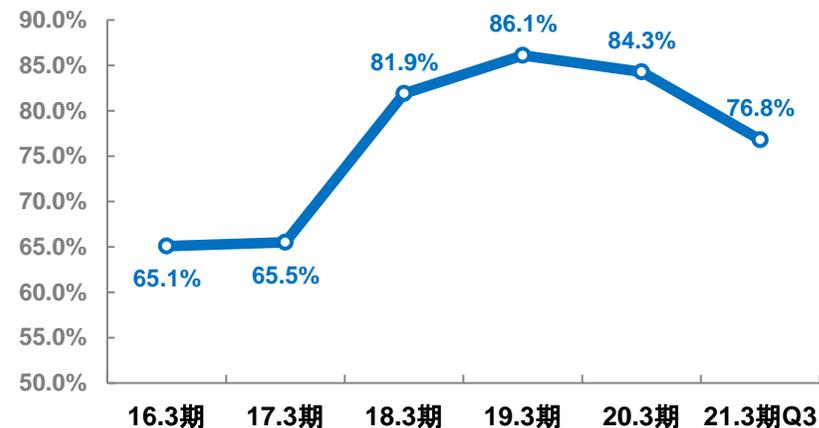
地域別売上高



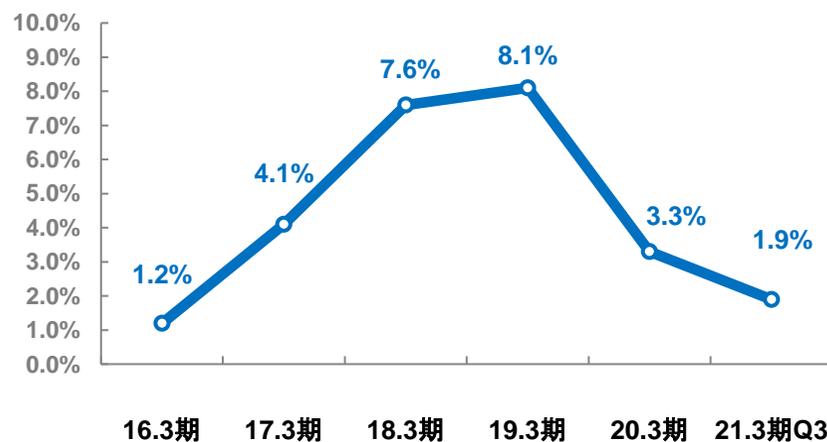
有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高



株主資本比率

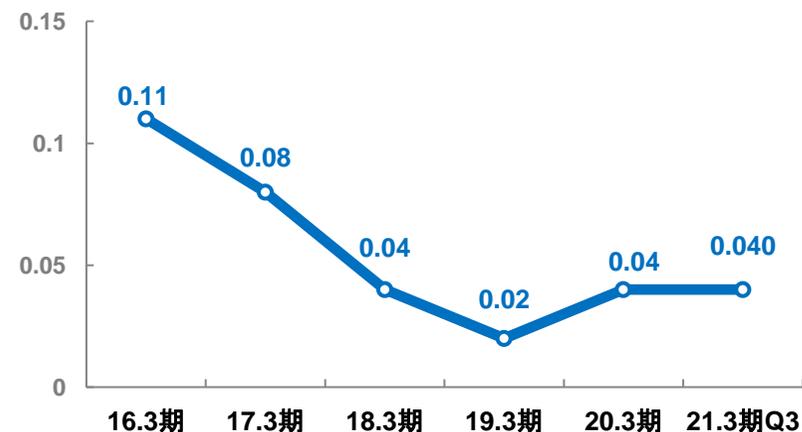


ROE



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

D/Eレシオ



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

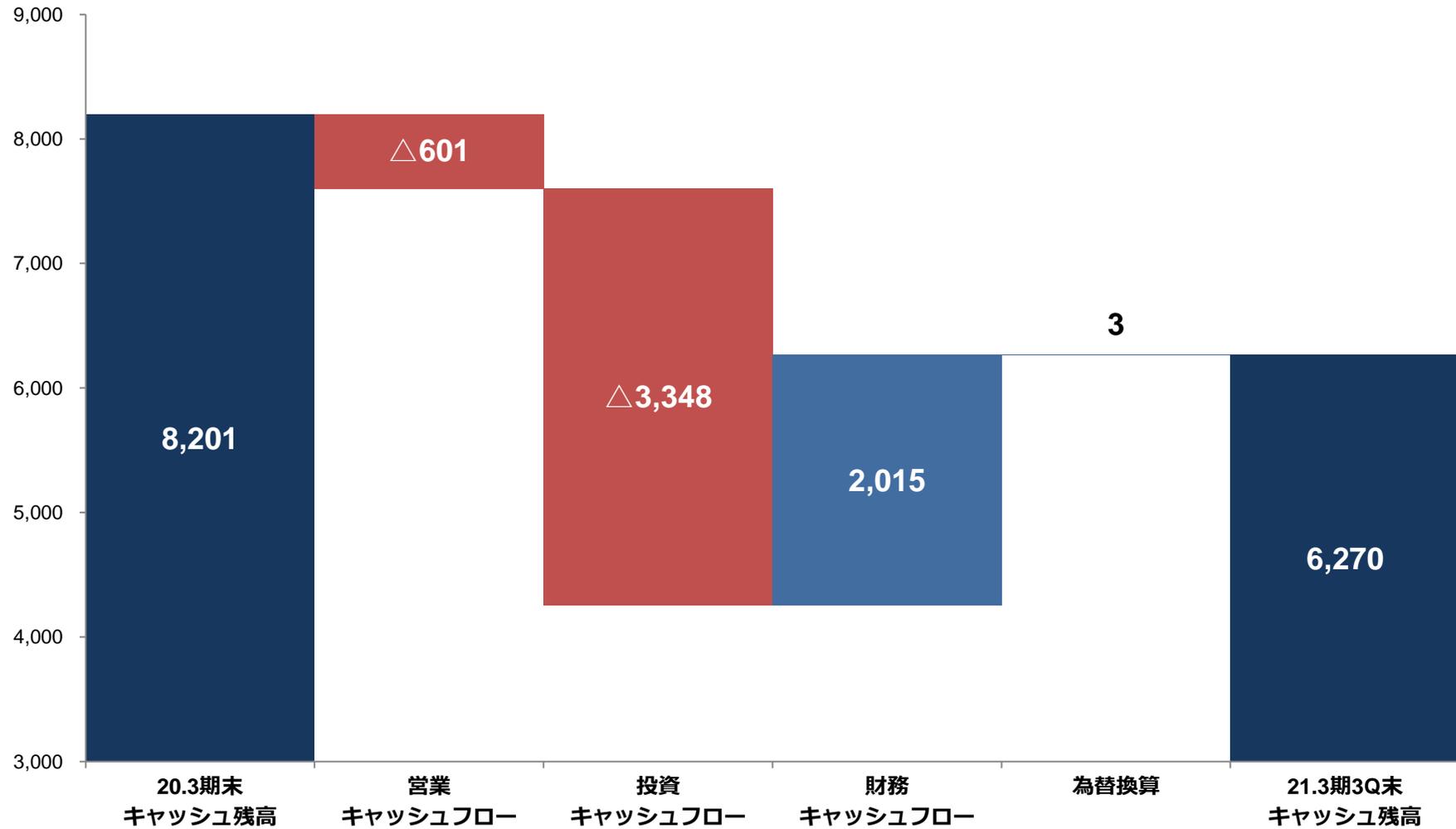
(単位：百万円)

	2020/3期 3Q	2021/3期 3Q	増減額	増減率
流動資産	16,332	13,854	△2,477	△15.2%
現金及び預金	10,431	6,574	△3,856	△37.0%
受取手形及び売掛金	3,557	4,072	514	14.5%
商品・製品 & 原材料・貯蔵品	2,096	2,592	496	23.7%
その他	246	614	367	149.3%
固定資産	4,823	12,464	7,641	158.4%
有形固定資産	4,051	10,364	6,312	155.8%
無形固定資産	366	323	△42	△11.6%
投資その他資産	405	1,776	1,370	337.9%
資産合計	21,155	26,319	5,163	24.4%

	2020/3期 3Q	2021/3期 3Q	増減額	増減率
流動負債	2,509	4,697	2,188	87.2%
支払手形及び買掛金	1,479	2,519	1,039	70.3%
1年以内返済社債・ 短期借入金	200	299	99	50.0%
その他	830	1,879	1,049	126.4%
固定負債	644	1,384	740	114.8%
社債・長期借入金	100	800	700	700.0%
退職給付に係る負債	226	213	△12	△5.7%
その他	318	371	53	16.6%
純資産合計	18,001	20,236	2,235	12.4%
負債純資産合計	21,155	26,319	5,163	24.4%

*自己資本比率 85.1% 76.9%

(単位：百万円)

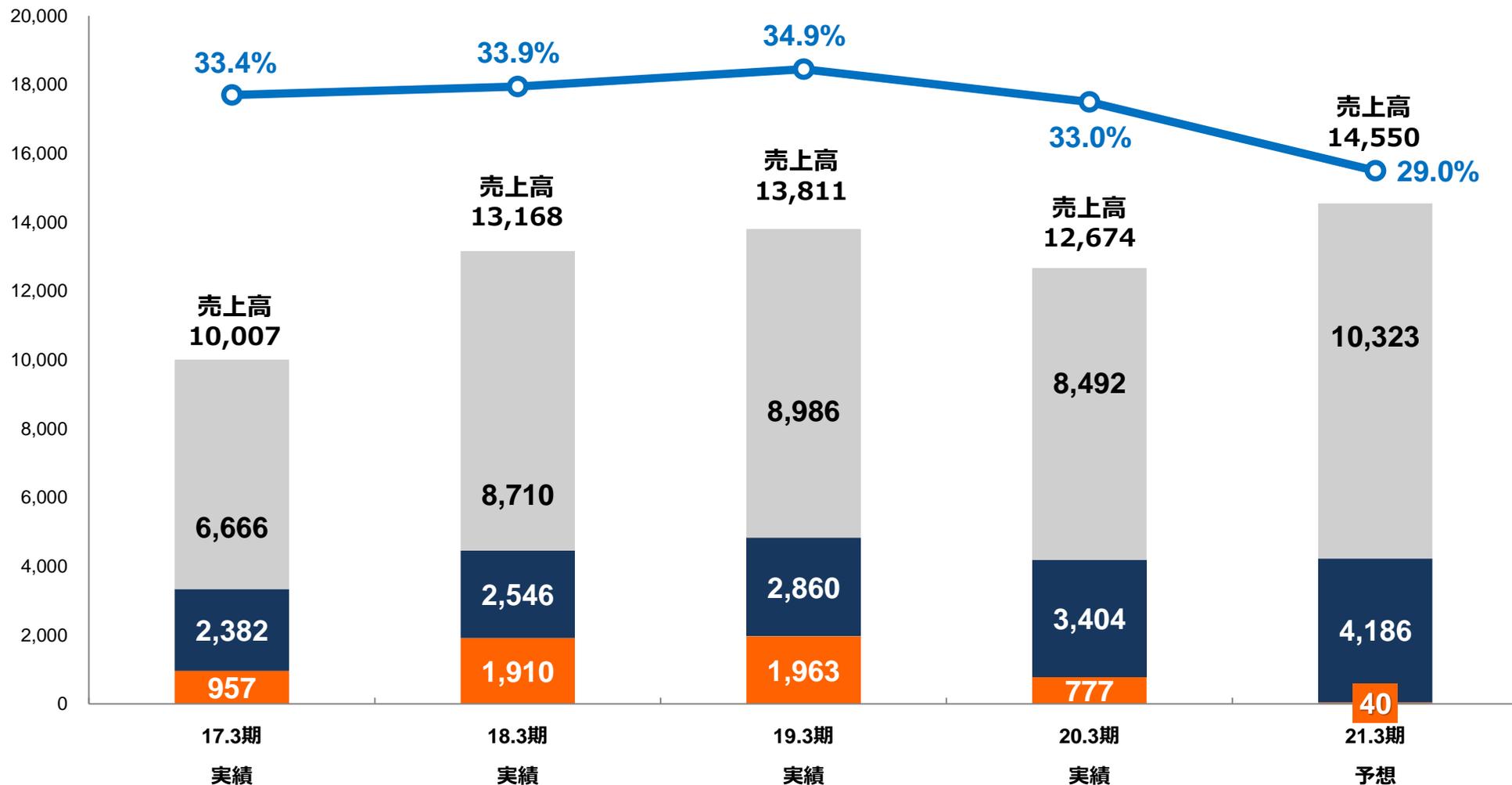


(単位：百万円)

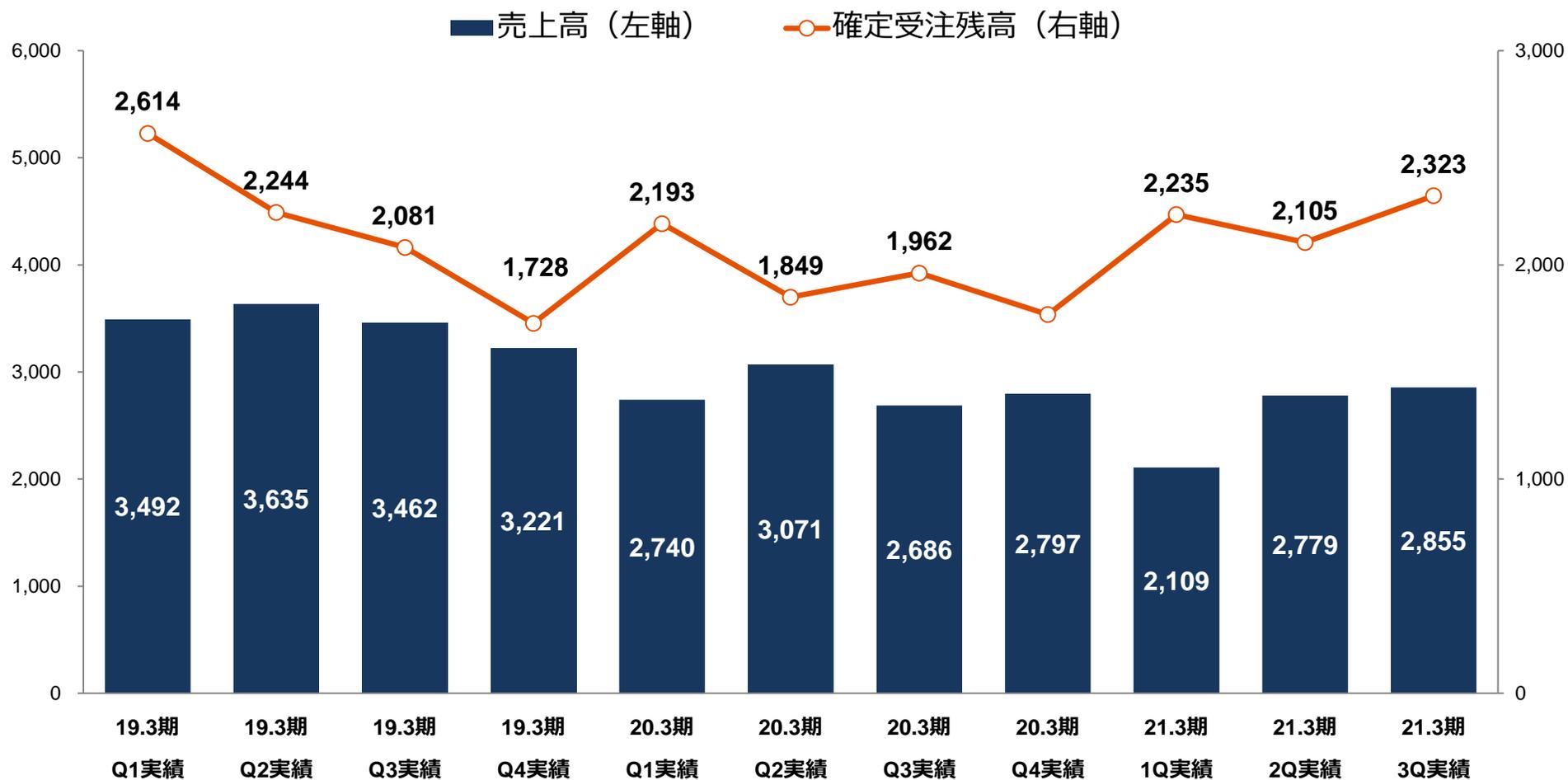
Currency	Incoming		Outgoing		Net	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース (10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比	各通貨		期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額(YTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額	影響額(YTD)
JPY	¥10,700.0	76%	¥10,800.0	71%	¥-100.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$27.3	20%	\$30.6	21%	\$-3.3	¥106.1	¥95.51	¥-10.61	¥35.02	¥116.73	¥10.61	¥-35.02
EUR	€2.9	3%	€2.4	2%	€0.5	¥122.4	¥110.14	¥-12.2	¥-6.12	¥134.62	¥12.24	¥6.12
PHP	PP0.0	0%	PP350.9	5%	PP-350.9	¥2.2	¥1.94	¥-0.2	¥75.79	¥2.38	¥0.22	¥-75.79
THB	฿55.60	1%	฿25.50	1%	฿30.10	¥3.4	¥3.05	¥-0.3	¥-10.20	¥3.73	¥0.34	¥10.20
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥94.49	-	-	¥-94.49

(単位：百万円)

営業利益 固定費 変動費 限界利益率



(単位：百万円)



想

参考資料

③ 今後の戦略

経営理念

仕濾過事

ろかじにつかふる

顕在する
様々な社会課題

気候変動

廃棄物処理

生物多様性
の減少

新型コロナ
ウイルス
の拡大

「仕濾過事」(ろかじにつかふる)を
具現化

フィルタビジネスを通じて
社会課題の解決に取り組む

経営理念

「仕濾過事」(ろかじにつかふる) の具現化

事業環境

当社が取り組む
3つのテーマ

社会課題

- ・ 気候変動
- ・ 廃棄物処理
- ・ 生物多様性の現象
- ・ 感染症の拡大



フィルタビジネスを通じた
社会的課題解決

ビジネスモデル

建機用フィルタ事業
ライン品・補給品

- ・ 補給品は建機メーカーへの販売のみという方針を徹底。
- ・ 高品質な製品を安定的に提供し、トップシェアを獲得
- ・ 長期間持続し環境にも優しい製品を提供
- ・ IoT管理による高付加価値製品を提供

エアフィルタ事業

- ・ 健康被害を低減する高機能フィルタの提供

ヘルスケア事業

- ・ 医療用と変わらない高機能マスクの提供

YAMASHIN Nano Filter™ 産業副資材

価値創造を支える
非財務資本

- 人的資本 (優秀な人材の積極登用)
- 製造資本 (強固なサプライチェーン体制)

当社の強み

YAMASHIN Nano Filter

建機用フィルタを突き詰めた結果開発できた、革新的新技術

イノベーション創出力

- ビジネスモデル
- 新分野の発掘力

技術のマイスター

- 自社開発/生産
- 製品への探求心

創出価値

私たちの目指す姿
総合フィルタメーカー

対外的にもたらす価値

- 3** すべての人に健康と福祉を
伝染病及び感染症拡大を抑制する効果のあるマスクの製造
- 7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに
ナノファイバーを用いた高断熱性農業用シートの利用による暖房用燃料使用量削減
- 12** つくも責任 つかう責任
ナノファイバー技術によるフィルタのロングライフ化による廃棄量減
- 13** 気候変動に具体的な対策を
再生可能エネルギー由来電力による使用電力に占める再生可能エネルギーの割合増加
- 15** 陸の豊かさも守ろう
ナノファイバー製造技術を用いた天然ダウン代替品普及によるダウン採取目的の水鳥保護

※ 具体的な削減KPIは参考資料をご覧ください

コーポレートガバナンス

一部出典元：株式会社日本総合研究所作成「**Second Party Opinion**」より

URL : http://www.Yamashin-filter.co.jp/ja/news/news_20200908_001/main/00/link/SecondPartyOpinion.pdf

事業を通じて約25,000トンのCO₂削減を目指す

■ サステナビリティプロジェクトが創出するインパクト

プロジェクトによるアウトプット	アウトカム		インパクト	
				インパクト指標 (年間)
再エネ由来電力の購入 太陽発電システムの購入	自社	電力に占める再生可能エネルギーの割合増	再生可能エネルギー	632t CO₂
YAMASHIN Nano Filter™生産設備の増設	ユーザ (建機)	建機用油圧フィルタのロングライフ化による廃棄量減	汚染防止及び抑制	4,000 t
	メーカー (衣類・寝具)	合成ダウンによる天然ダウン使用料削減	陸域及び水生生物の多様性の保全	23 t
YAMASHIN Nano Filter™のリサイクル設備の導入	ユーザ (農業)	高断熱性農業用シートによる燃料消費量減	エネルギー効率	24,440t co₂
	ユーザ (建機など)	各種フィルタの廃棄量減	汚染防止及び抑制	(定性評価)
一般用マスク製造機械の増設	ユーザ (一般)	一般用マスクの増産	必要可能なサービスへのアクセス	2.3億枚
医療用マスク製造機械の増設	ユーザ (医療従事者)	医療用マスクの増産	必要可能なサービスへのアクセス	(定性評価)
YAMASHIN Nano Filter™技術の研究開発	ユーザ (一般)	セパレータの開発による燃料電池普及拡大	クリーンな輸送	(定性評価)
	メーカー・ユーザ	YAMASHIN Nano Filter™の高機能化 (微細化・特性付加)	環境・社会側面に幅広い可能性	

出典元：株式会社日本総合研究所作成「**Second Party Opinion**」より

URL：http://www.Yamashin-filter.co.jp/ja/news/news_20200908_001/main/00/link/SecondPartyOpinion.pdf

建設機械フィルタの専門メーカーから 「総合フィルタメーカー」への飛躍を加速





この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp